

■配置計画の基本的な考え方

- ・新庁舎は現第二庁舎付近に一棟として配置し、分散していた庁舎を集約する計画とします。
- ・敷地南側に新庁舎を寄せて配置し、北側に来庁者駐車場を多く確保できる計画とします。
- ・現本庁舎跡地は、来庁者が利用しやすい平面駐車場(新庁舎東側駐車場)として整備します。
- ・松橋駐車場敷地に立体駐車場を建設し、公用車駐車場を集約する計画とします。

■浸水対策の基本的な考え方

- ・敷地は想定最大規模の洪水および高潮での浸水想定エリアに位置するため、地盤の嵩（かさ）上げを行います。
- ・浸水想定水位をT.P.+7.3mとし、1FL=T.P.+7.54mとして外構をすり付ける計画とします。
（※T.P.：標高の基準となる高さ）

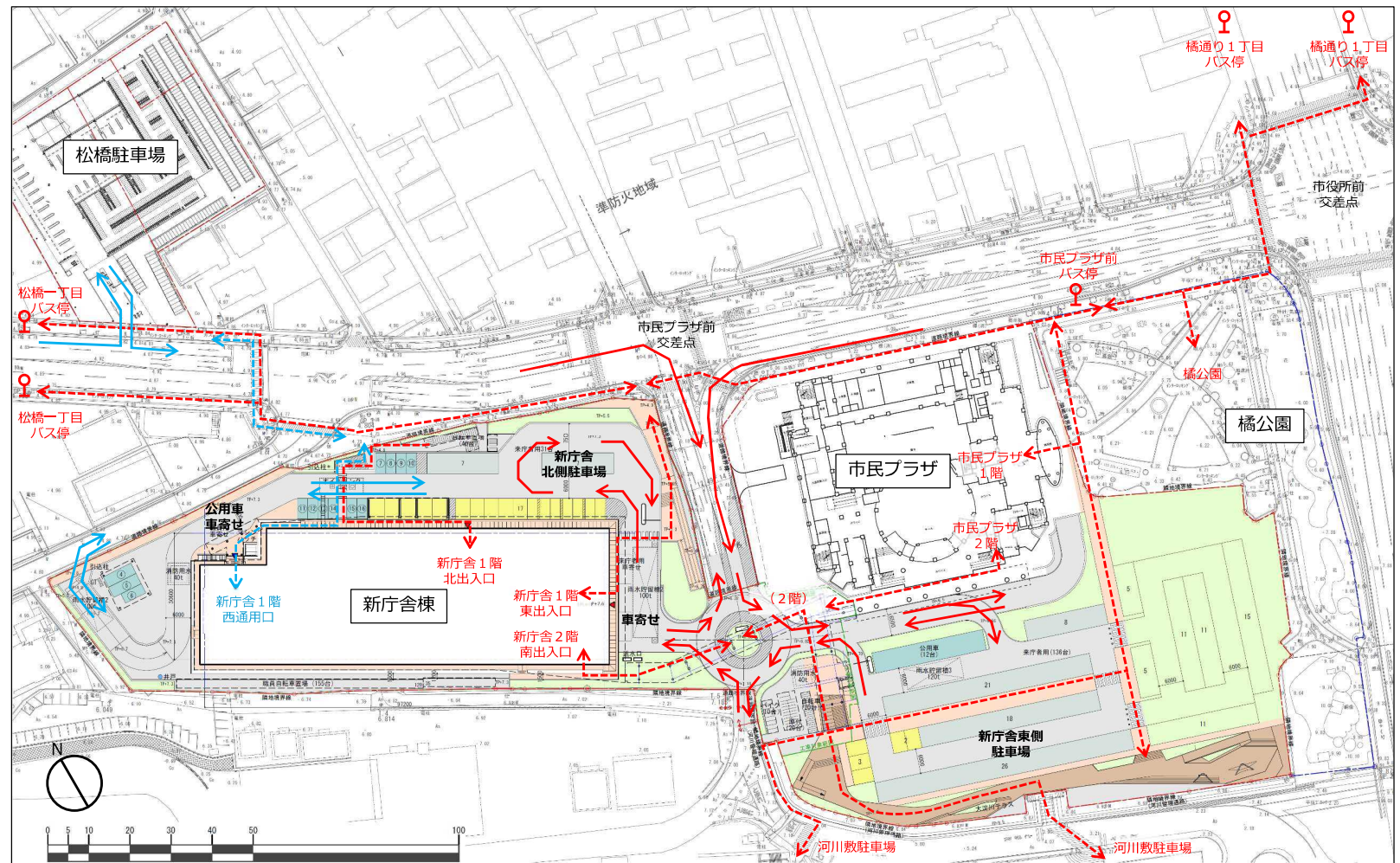
■動線計画の基本的な考え方

- ・新庁舎棟は敷地南側に配置し、新庁舎東側駐車場や河川敷駐車場からの移動距離を短縮することで、市民の利便性を向上させます。
- ・新庁舎棟東側に来庁者車寄せとメインエントランスを配置し、北側にはおもいやり駐車場を設置することで、障がい者など誰もが利用しやすい庁舎とします。
- ・新庁舎棟の西側に職員通用口を設置し、来庁者と職員の動線を分離します。
- ・敷地中央にラウンドアバウトを設け、車の速度抑制を図ることで安全性を高めます。
- ・新庁舎棟と新庁舎東側駐車場、市民プラザを結ぶ連絡通路を2階レベルに設け、歩車分離を図ります。

凡例

- 来庁者（車両）
- - - - - 来庁者（歩行者）
- 公用車・サービス車両
- - - - - 職員

※新庁舎棟へのサービス車両動線は
公用車に準ずる

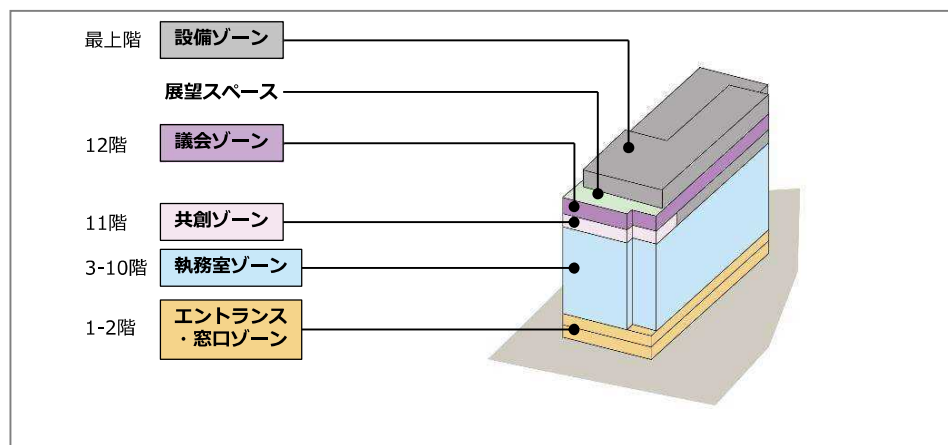


□施設配置と動線

1-9. ゾーニング計画

■ゾーニング計画の基本的な考え方

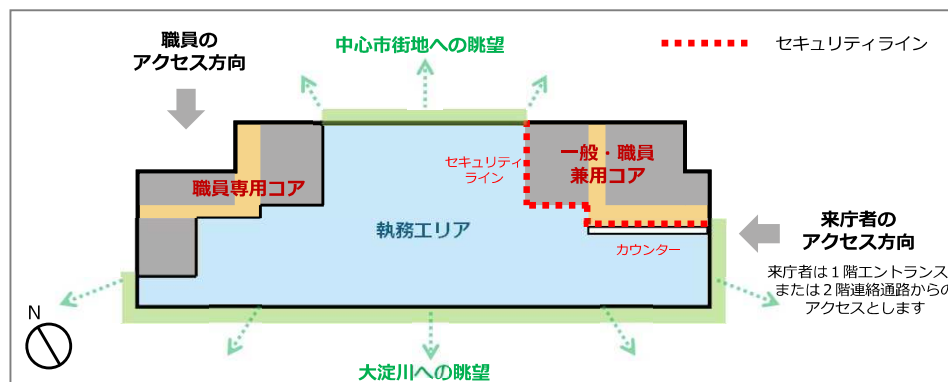
- ・「エントランス・窓口ゾーン」、「執務室ゾーン」、「共創ゾーン」、「議会ゾーン」、「設備ゾーン」の5つのゾーンに分け、利用者の動線を明確に区分することで、来庁者の利便性の向上とセキュリティの確保を両立する計画とします。
- ・1～2階を主に市民が利用する「エントランス・窓口ゾーン」とし、様々な手続きや相談ができる総合窓口を2階に設置するとともに、1階にコンビニなどの便民施設を設置します。
- ・3～10階を主に職員が執務をおこなう「執務室ゾーン」とし、それらを集約することで、効率的で生産性の高い執務空間を整備します。
- ・11階を市民と職員が一緒に利用可能な共創テラスを配置した「共創ゾーン」とし、設備スペースや中央書庫なども残りの部分に効率的に配置します。
- ・12階を「議会ゾーン」とし、独立性を確保しやすい計画とします。
- ・最上階は「設備ゾーン」として主要設備や屋外設備を設置するとともに、眺望を楽しめる展望スペースを設けます。



□ 5つのゾーンと展望スペース

■平面ゾーニング

- ・大淀川側に開口部を最大限確保可能で、窓口や執務空間をまともよく確保できる「偏心両端コア形式」を採用します。
- ・来庁者は主に新庁舎棟の東側からアクセスすることを考慮して、東側のコアを一般・職員兼用とし、西側コアを職員専用とすることで、利便性とセキュリティを両立します。



□ 偏心両端コア形式による基準階の平面ゾーニング

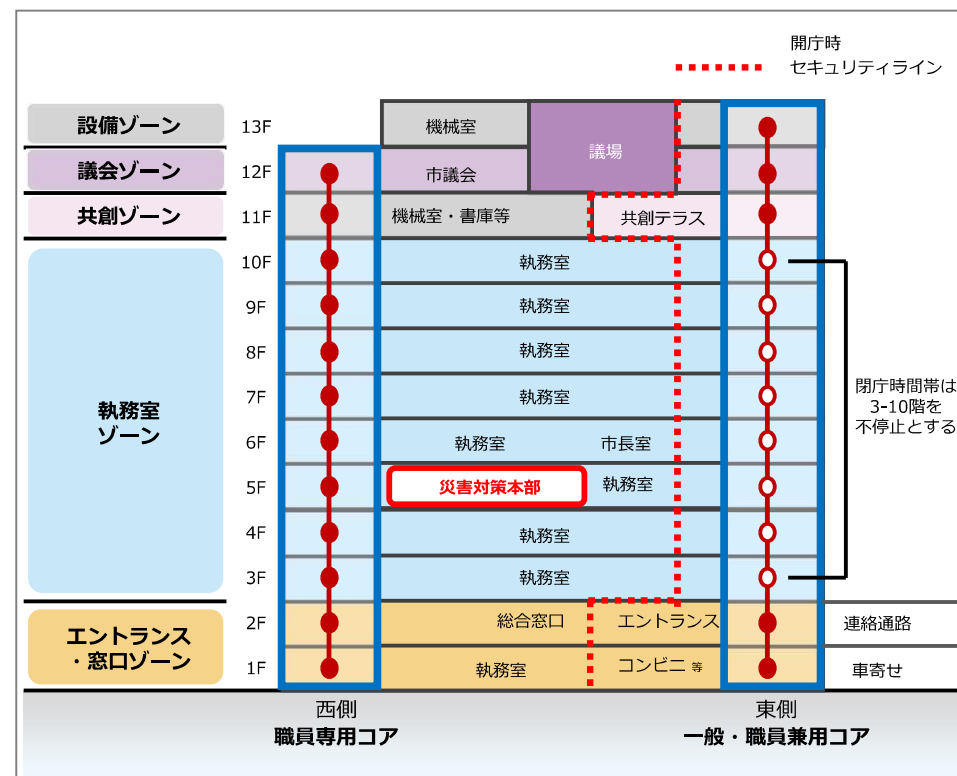
■縦動線計画

- ・東側の一般・職員兼用コアと西側の職員専用コアのそれぞれに屋内避難階段と昇降機を設けます。
- ・職員のフロア間の移動を円滑にすることや、フロアをまたいだ職員間のコミュニケーションを活性化させるため、執務室ゾーンを上下に移動できる中央階段を執務エリア中央に配置します。
- ・閉庁時間帯の利用を想定する1・2・11・12・最上階のみの利用を想定し、一般・職員兼用コアの屋内避難階段にはパニックオープン機能を備えた電気錠を設けるとともに、昇降機には着床階制御機能を設けます。

(※パニックオープン：火災などの災害時に、電気錠を自動的に開錠し、避難経路を確保すること)

■災害対策本部機能

- ・来庁者の多いエントランス・窓口ゾーンを1・2階に、比較的に来庁者の利用が多い執務ゾーンを3・4階に集約します。これらを優先した上で、地上に近い5階に災害対策本部機能を配置します。
- ・災害対策本部機能の直上階である6階には、緊急時を想定して市長室を配置します。
- ・5階には大型の会議室を可能な限り集約し、災害時にはオペレーションルームなどに転用しやすい計画とします。



□ 断面構成とセキュリティの考え方

1-10. 平面計画

■平面計画の基本的な考え方

- ・1フロア約3,000㎡の大きな平面として、航空法の高制限内に必要な面積を確保できる計画とします。
- ・東西方向は両端部を除き、7.2mの均等スパンの計画としつつ、南北方向は最大17.7mのロングスパン構造とし、「無柱・整形・広さ」を兼ね備えた使いやすい内部空間を確保します。
- ・大淀川側を大きく開放でき、南北に設けた通風窓により十分な自然換気が図れる偏心両端コア形式を採用します。
- ・西側コアを職員専用、東側コアを一般・職員兼用として、セキュリティラインの設定を容易にします。

■階段計画

- ・建築基準法に定める屋内避難階段を東西2か所に設置します。
- ・南北窓側の中央付近からの避難距離（最大60m）および南東角部、南西角部からの重複距離（最大30m）をクリアできる配置とします。
- ・平面が大きく、2つの階段が離れているため、執務フロア（3～10階）の中央に、利便性と移動の効率性を高める中央階段を設置します。

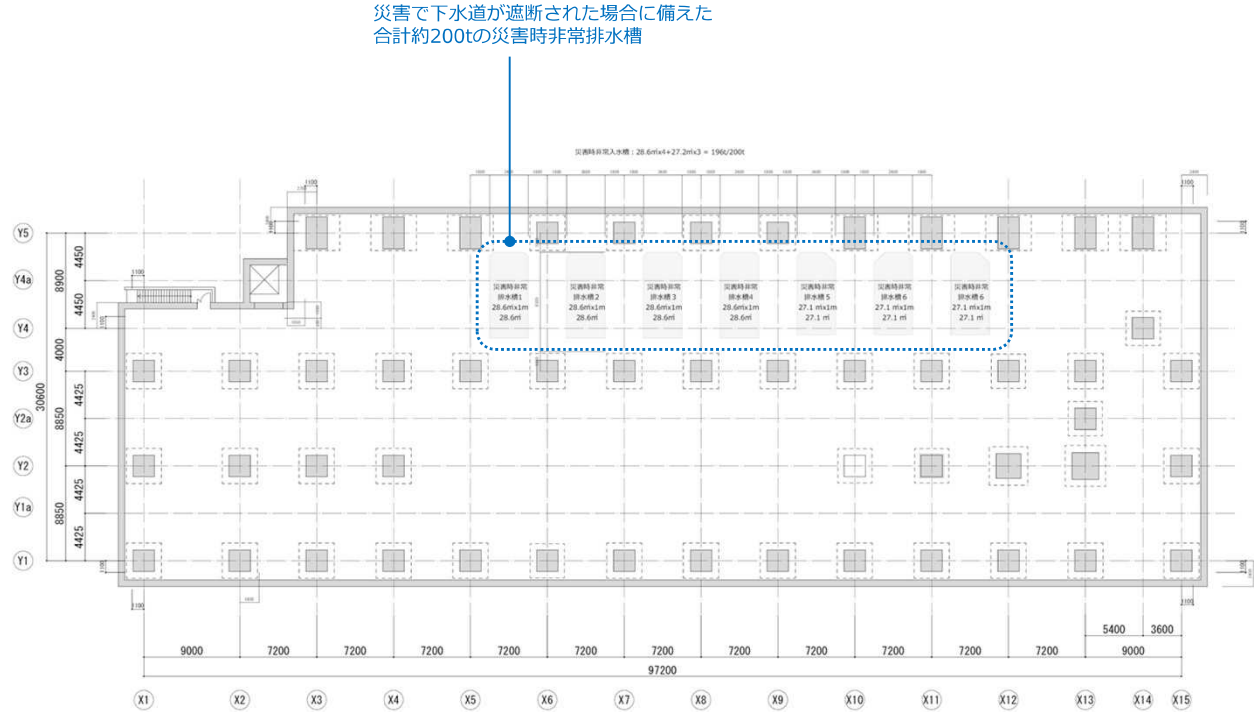
■昇降機計画

- ・西側コアに4台、東側コアに5台を集約配置するとともに、建築基準法上、2台の設置が求められる非常用エレベーターを乗用エレベーターと一体的に利用可能とすることで、運用効率を高めます。

■バルコニー計画

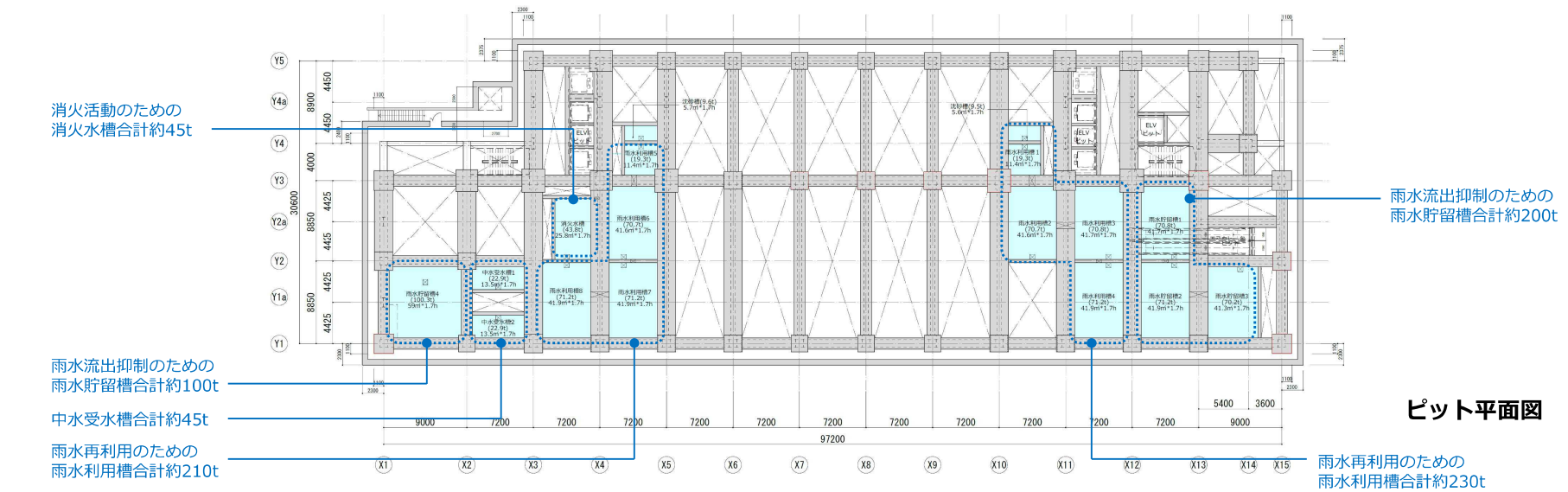
- ・東西面に避難器具を設置するためのバルコニーを設けます。





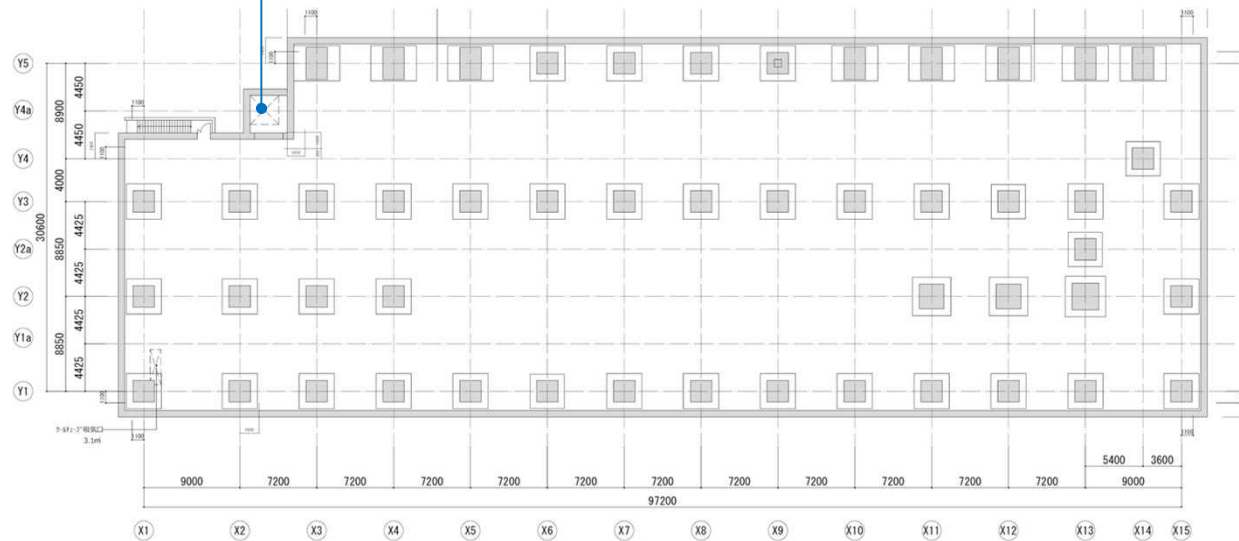
耐圧版平面図





ピット平面図

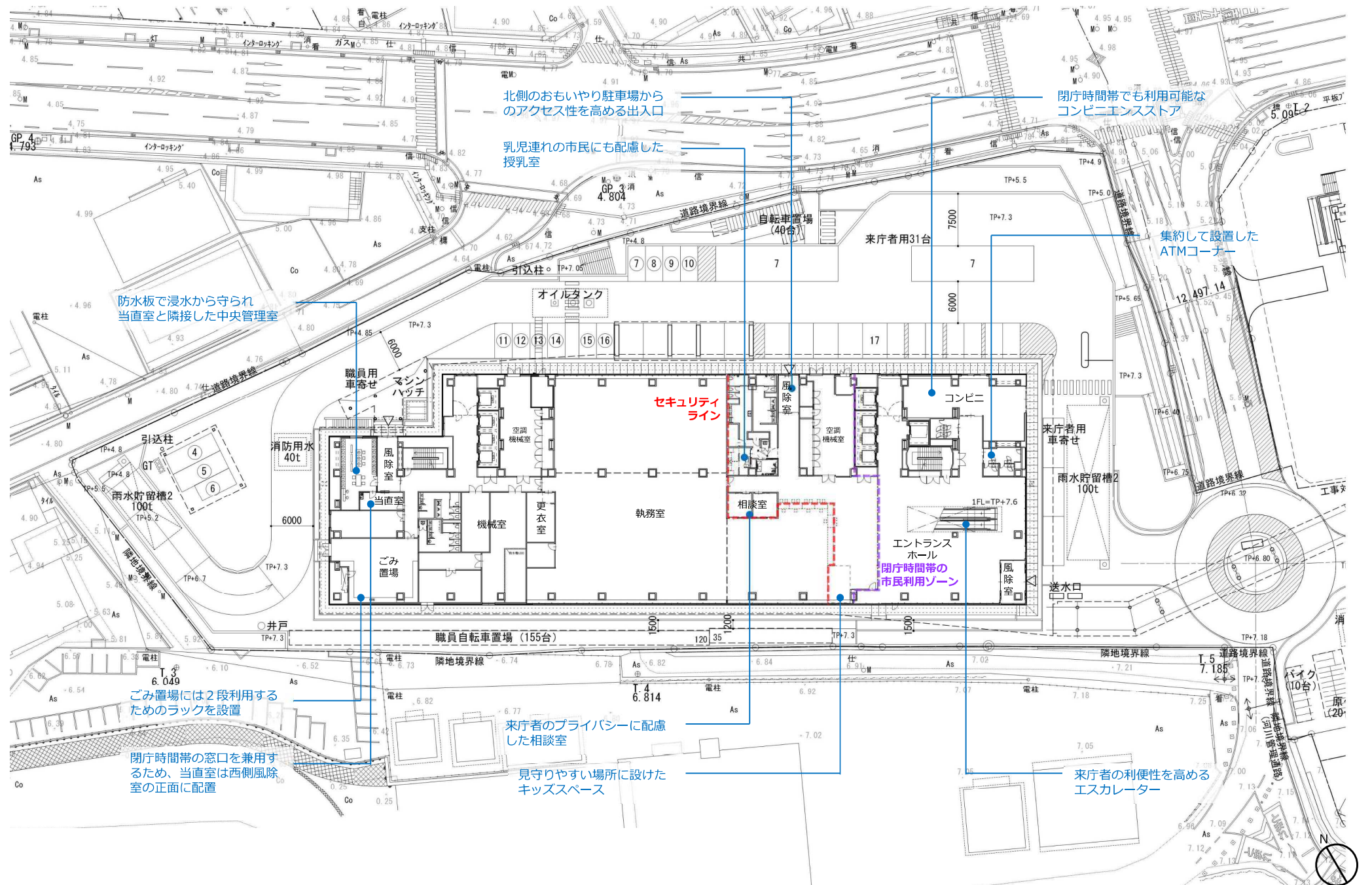
免震装置の更新時に搬出入
ルートとなるマシンハッチ



免震層平面図

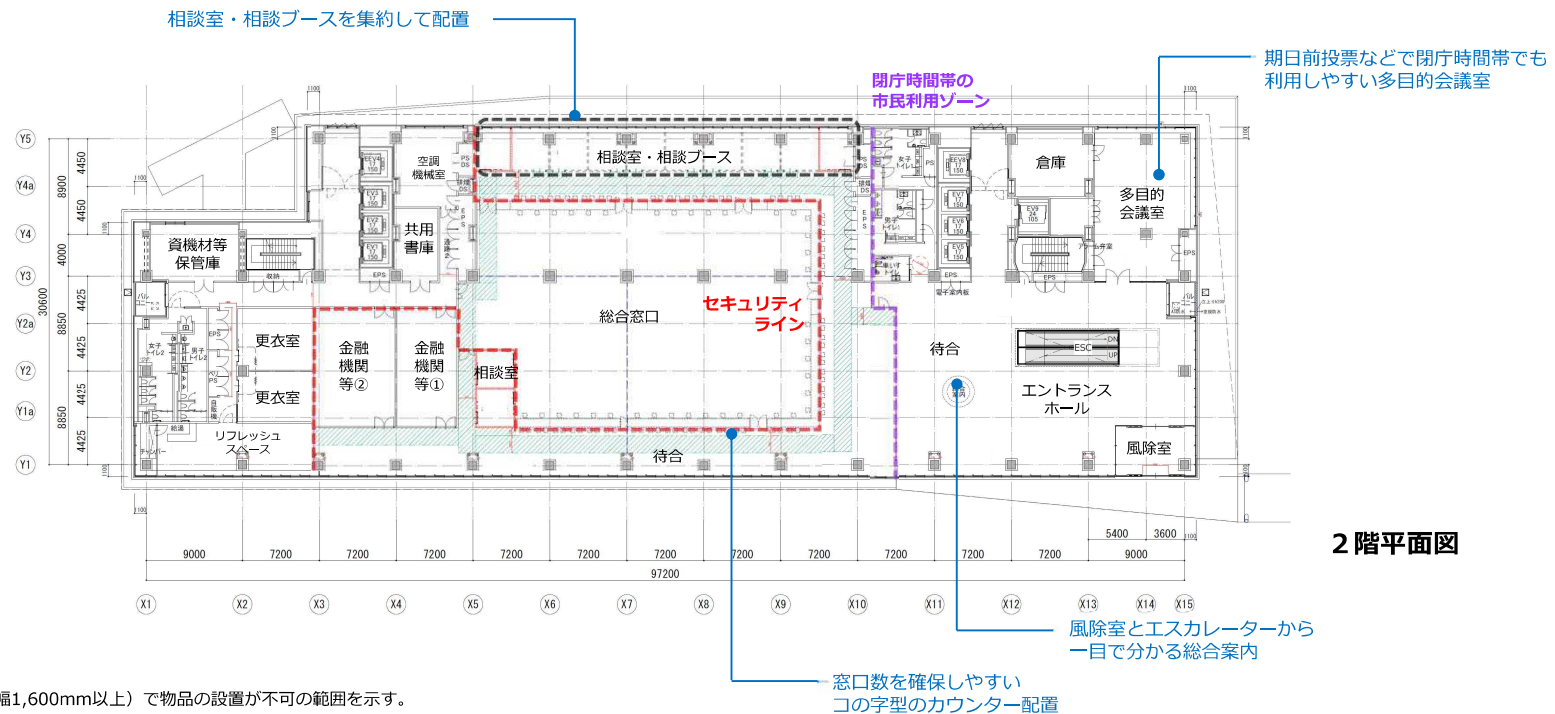
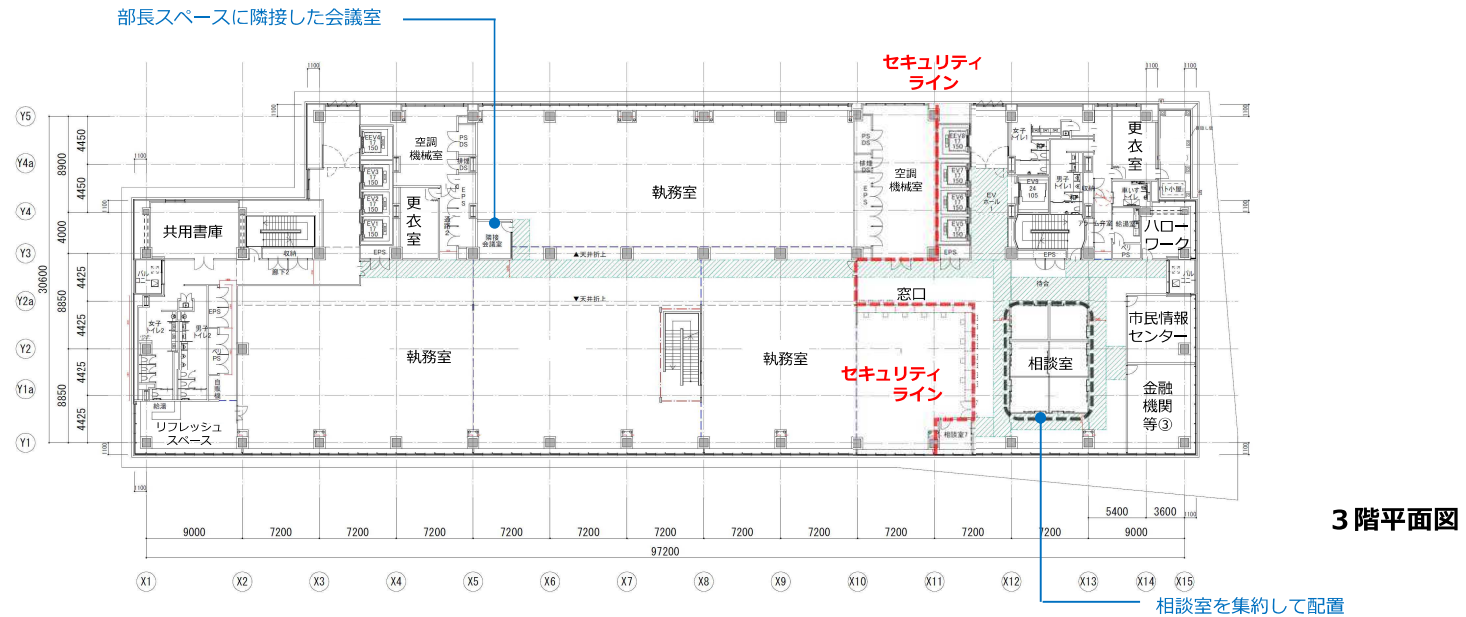


1-10. 平面計画

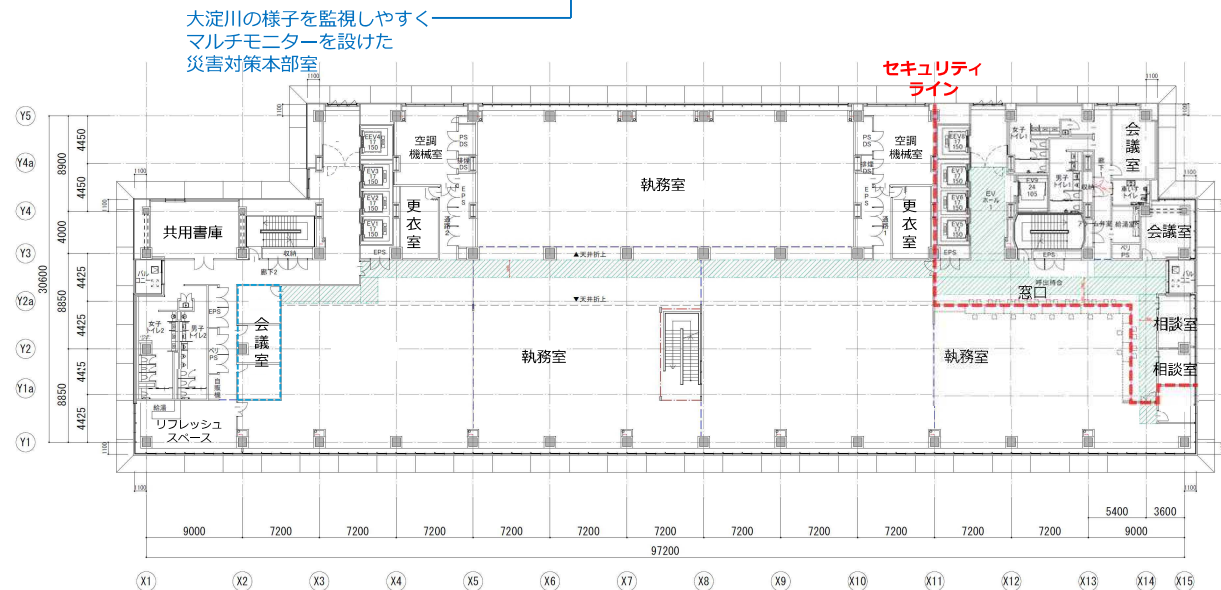
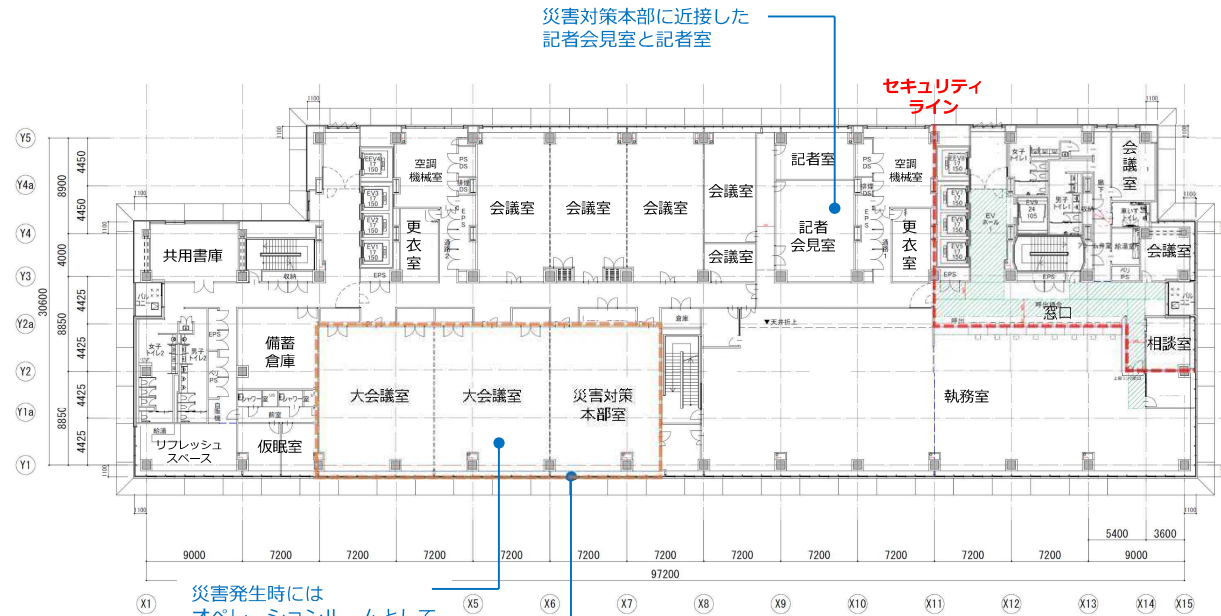


1 階平面図

1/500

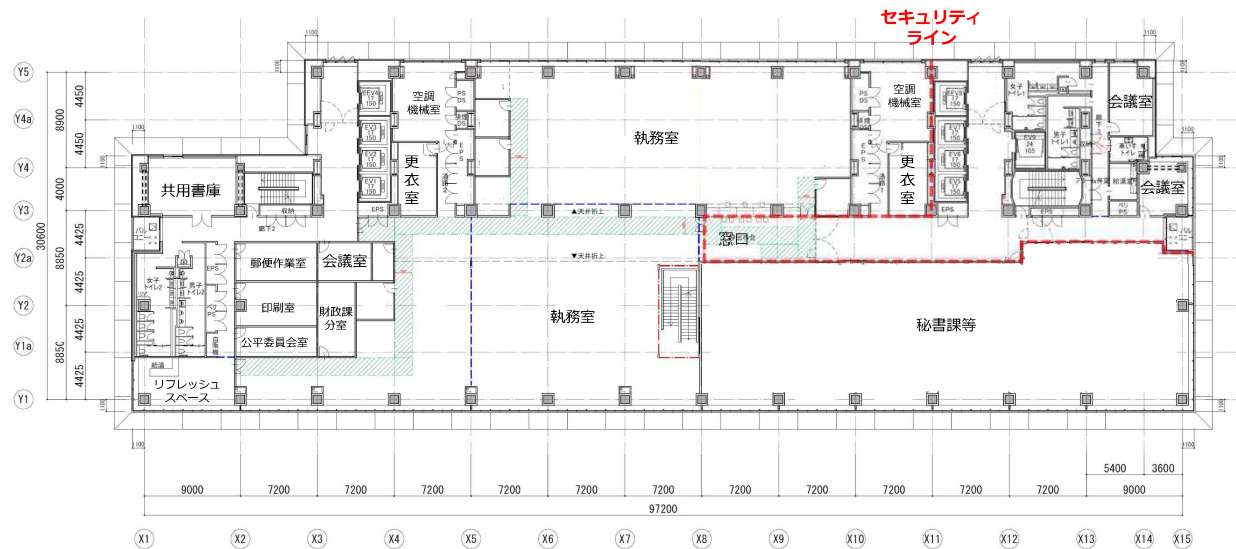
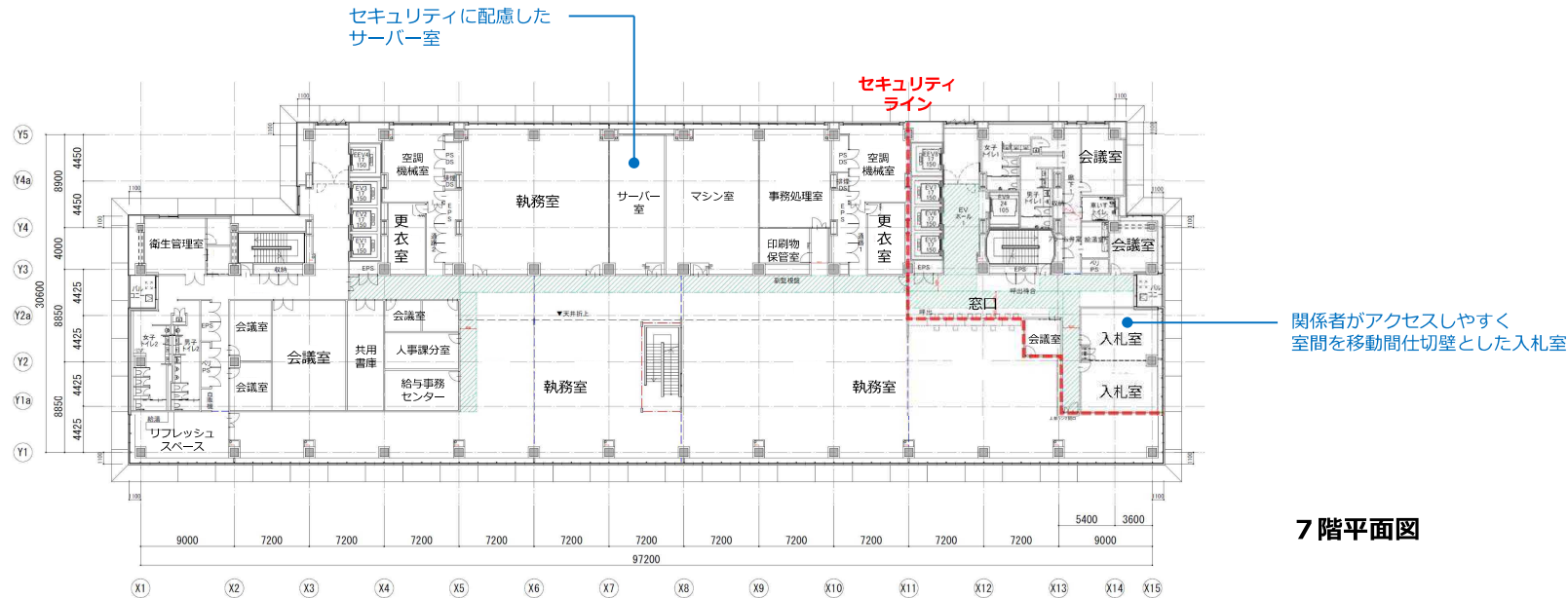


執務室内の避難通路（幅1,600mm以上）で物品の設置が不可の範囲を示す。



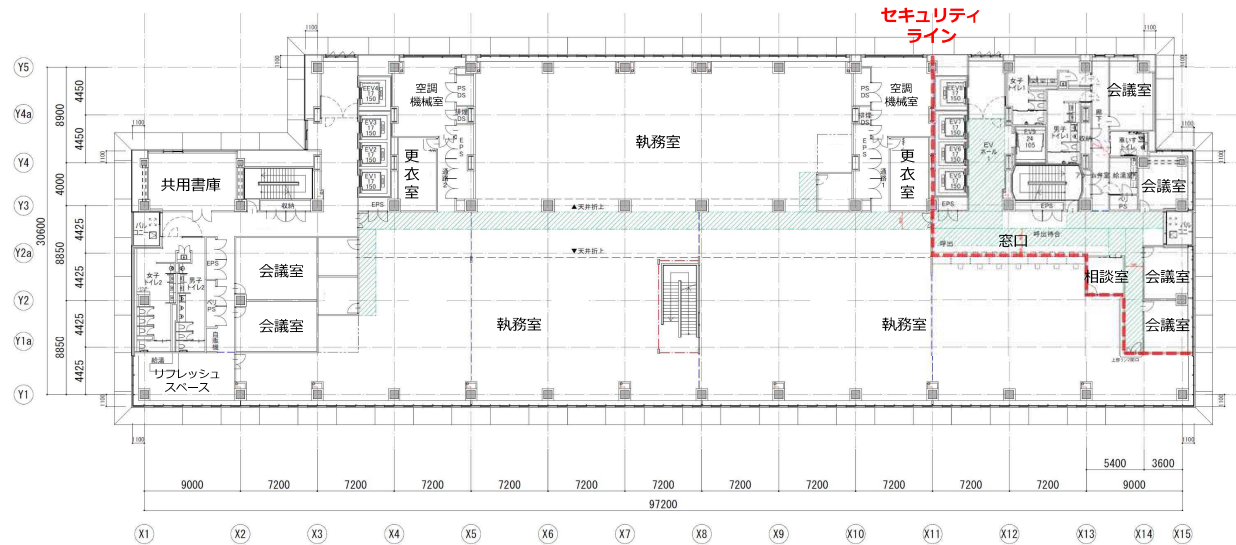
執務室内の避難通路（幅1,600mm以上）で物品の設置が不可の範囲を示す。



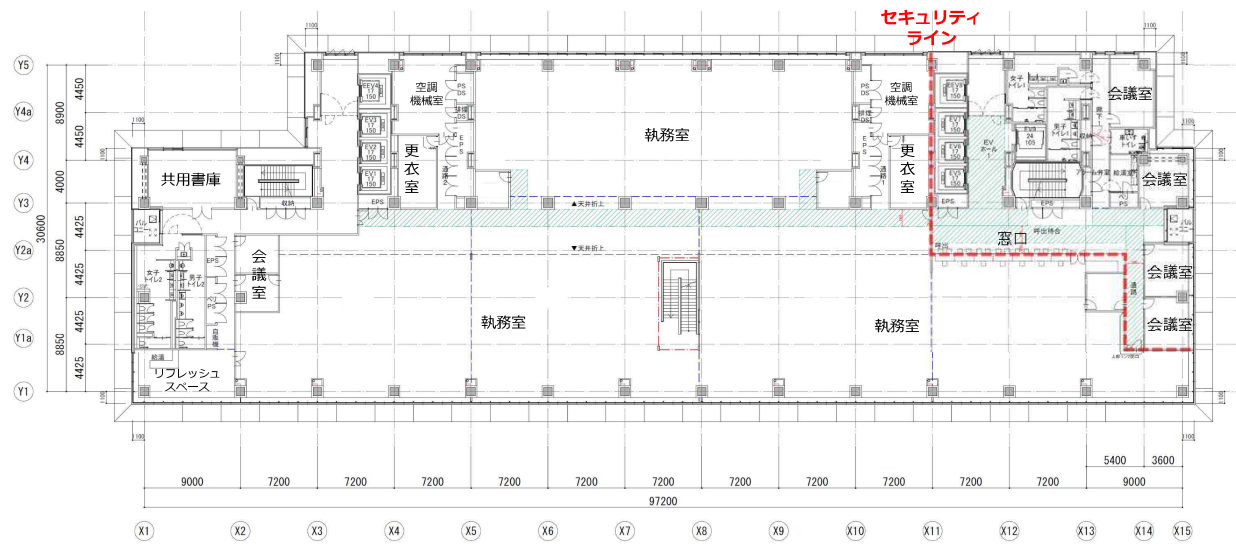


執務室内の避難通路（幅1,600mm以上）で物品の設置が不可の範囲を示す。





9階平面図



8階平面図



執務室内の避難通路（幅1,600mm以上）で物品の設置が不可の範囲を示す。

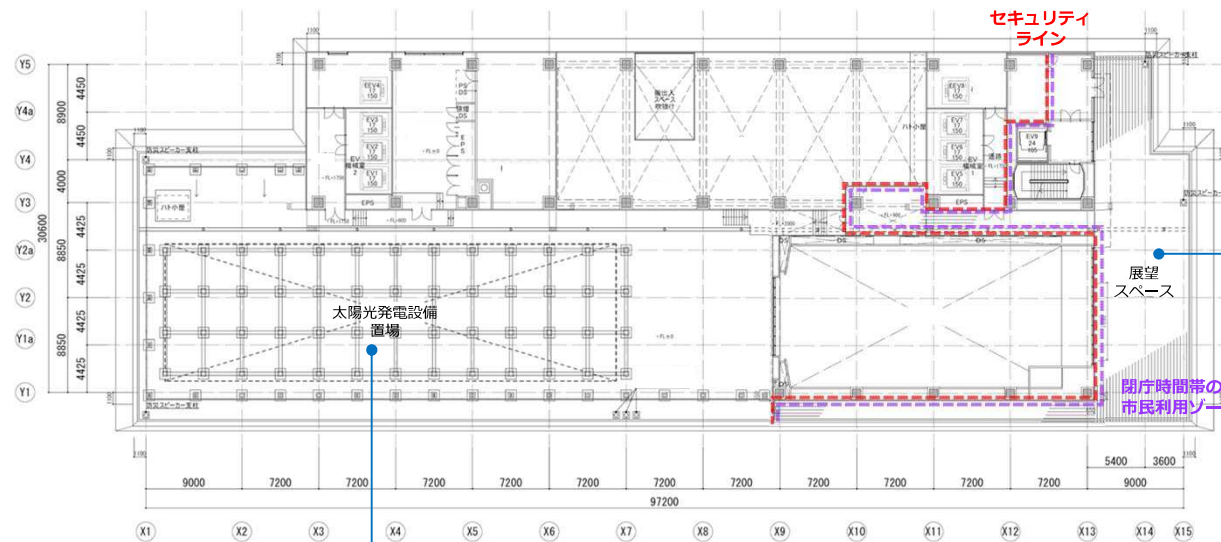


1/500



N



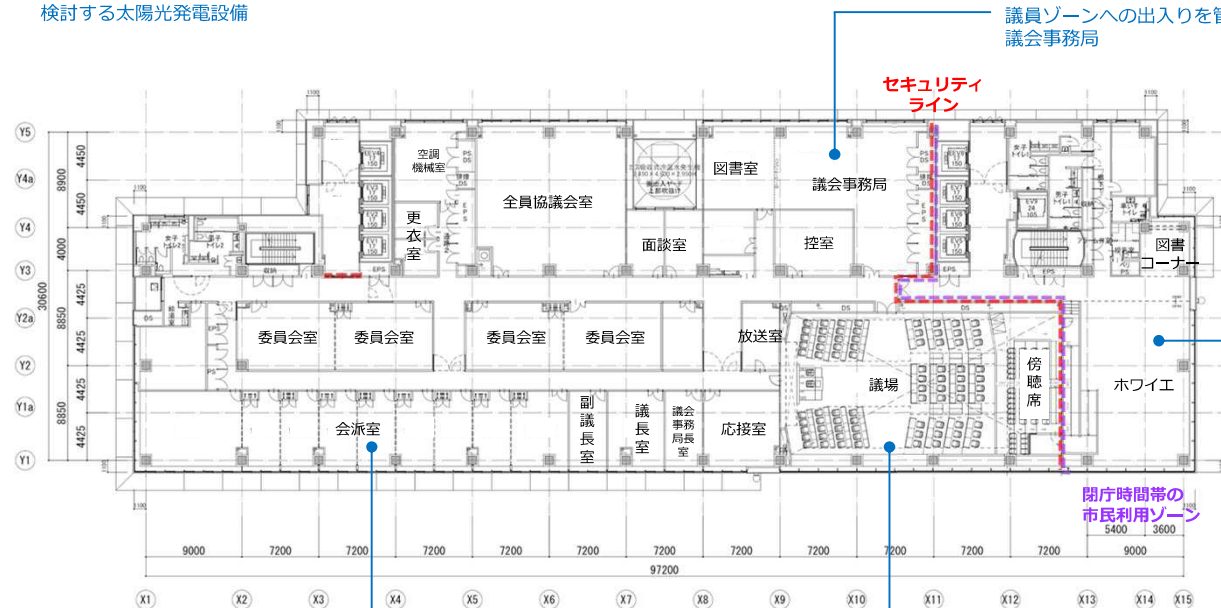


13階平面図

民間事業者による設置を検討する太陽光発電設備

閉庁時でも市民が大淀川の眺望を楽しめる展望スペース

閉庁時間帯の市民利用ゾーン

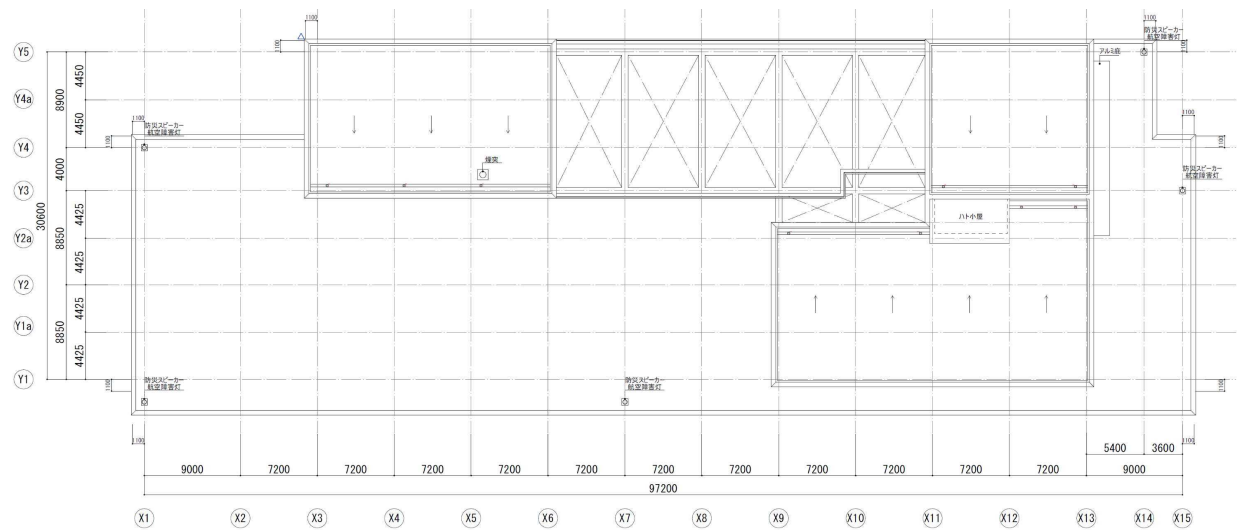


12階平面図

移動間仕切壁で仕切られ
会派数の変更に对应しやすい
会派室

傍聴者と議員の双方からアクセスしやすい議場





塔屋屋根平面図



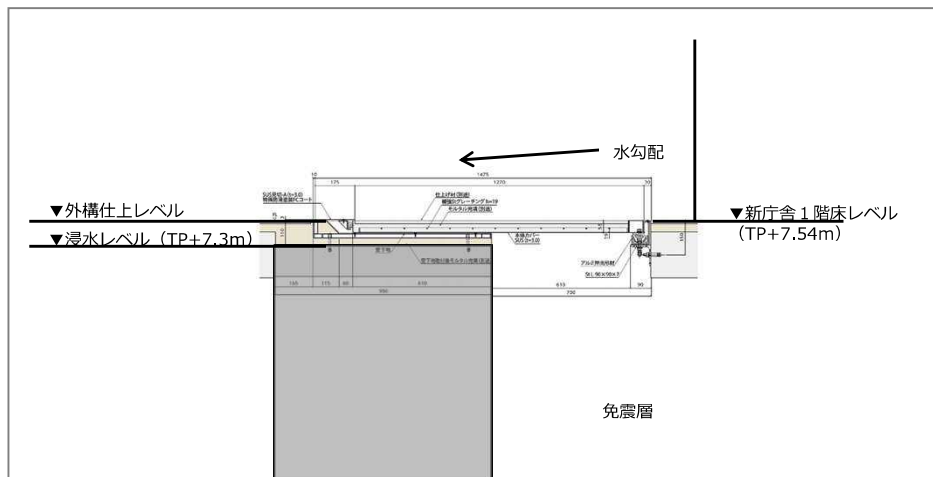
1-11. 断面計画

■新庁舎の断面計画の基本的な考え方

- ・本計画地は、航空法の高さ制限があり、建物高さがある一定の高さを越えることができない条件があります。
- ・各階の設備納まりを考慮した無駄のない階高設定とします。
- ・敷地南側の隣地斜線について天空率による緩和を受ける計画とします。

■地盤面の基本的な考え方

- ・基本計画を踏まえ、浸水レベルをTP+7.3m（想定最大規模の洪水・高潮浸水に対応）とします。
【災害対応計画を参照】
- ・免震層擁壁の躯体天端をTP+7.3m以上とし、免震層を浸水から守る計画とします。
- ・床仕上厚・免震EXP.J・水勾配などを考慮し、TP+7.54mを1階床レベルとします。



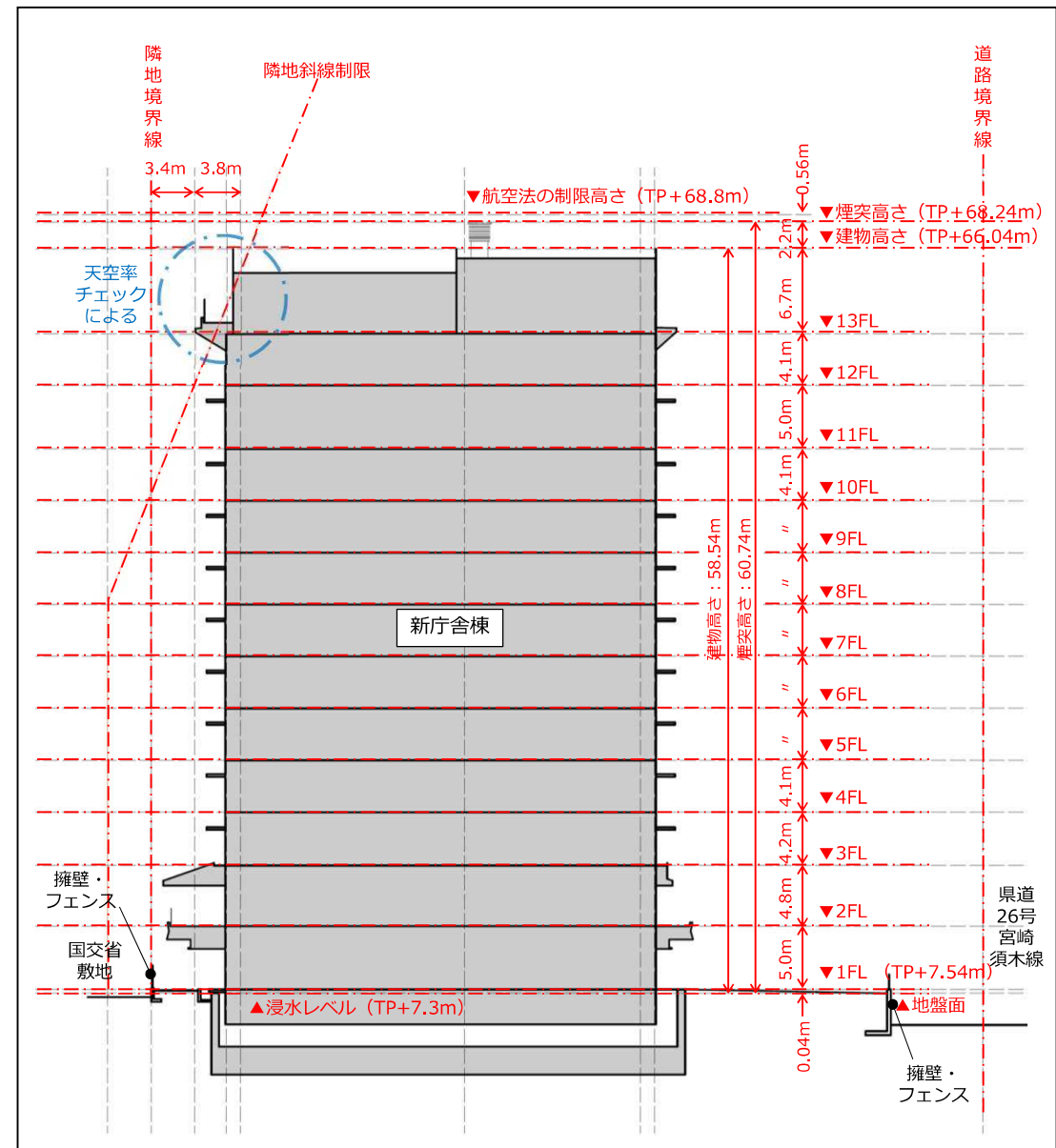
□ 浸水レベルと新庁舎1階床レベルの関係

■航空法の高さ制限

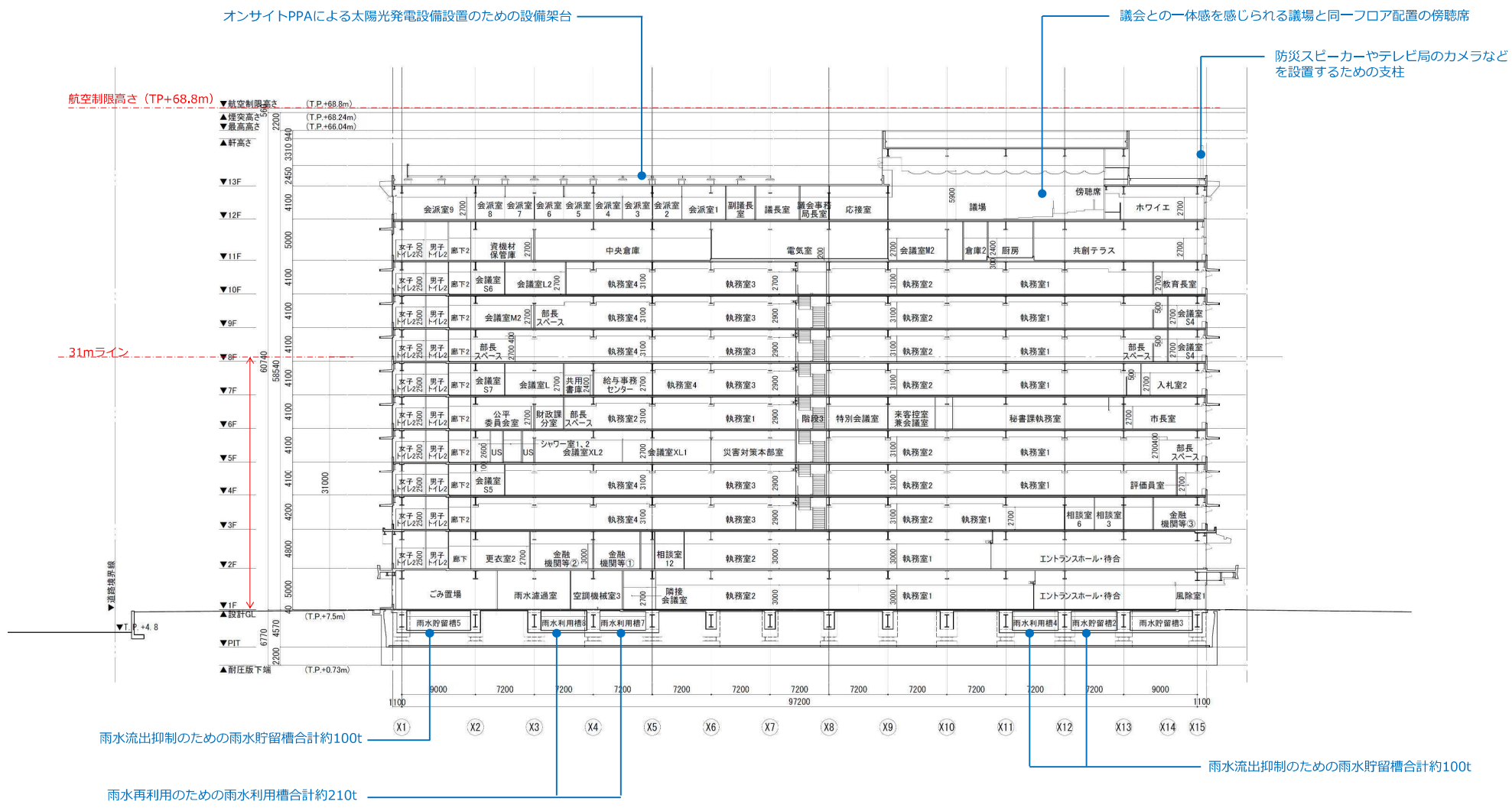
- ・宮崎空港事務所に照会を行った結果、航空法の制限高さはTP+68.8mでした。
- ・基本設計では平均地盤面をTP+7.5mと設定し、その場合の制限高さは61.3mとなります。
- ・非常用発電機の煙突頂部の高さを60.74m（TP+68.24m）とし、制限高さ内に抑えます。
- ・なお、建築基準法上の最高高さは、煙突を含まない58.54m（TP+66.04m）とします。
- ・煙突や付帯設備の一部が高さ60m以上となるため、航空障害灯を設置します。

■電波法の高さ制限

- ・新庁舎棟の高さを航空法の制限高さであるTP+68.8mとした場合、電波伝搬障害が生じないか、総務省九州総合通信局に照会を行った結果、障害は生じないとの回答を得ました。

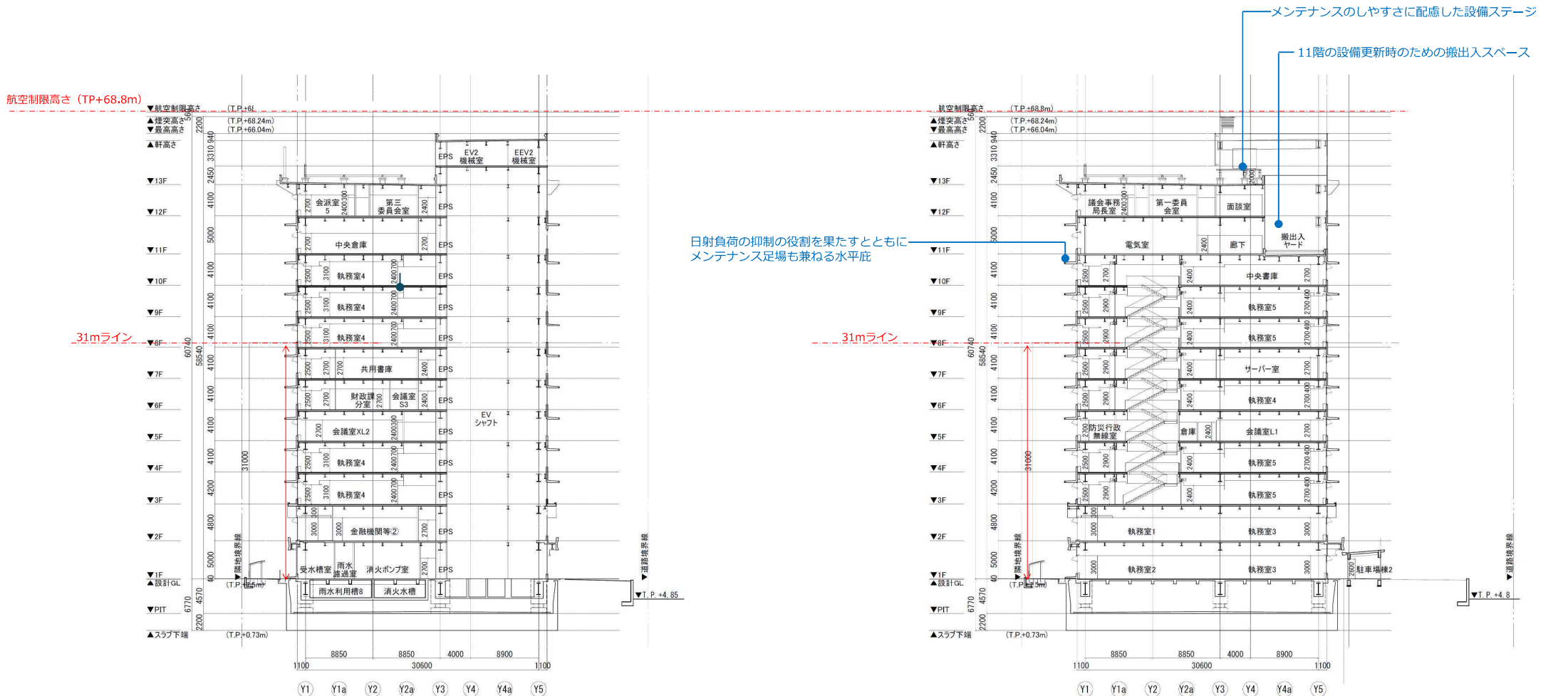


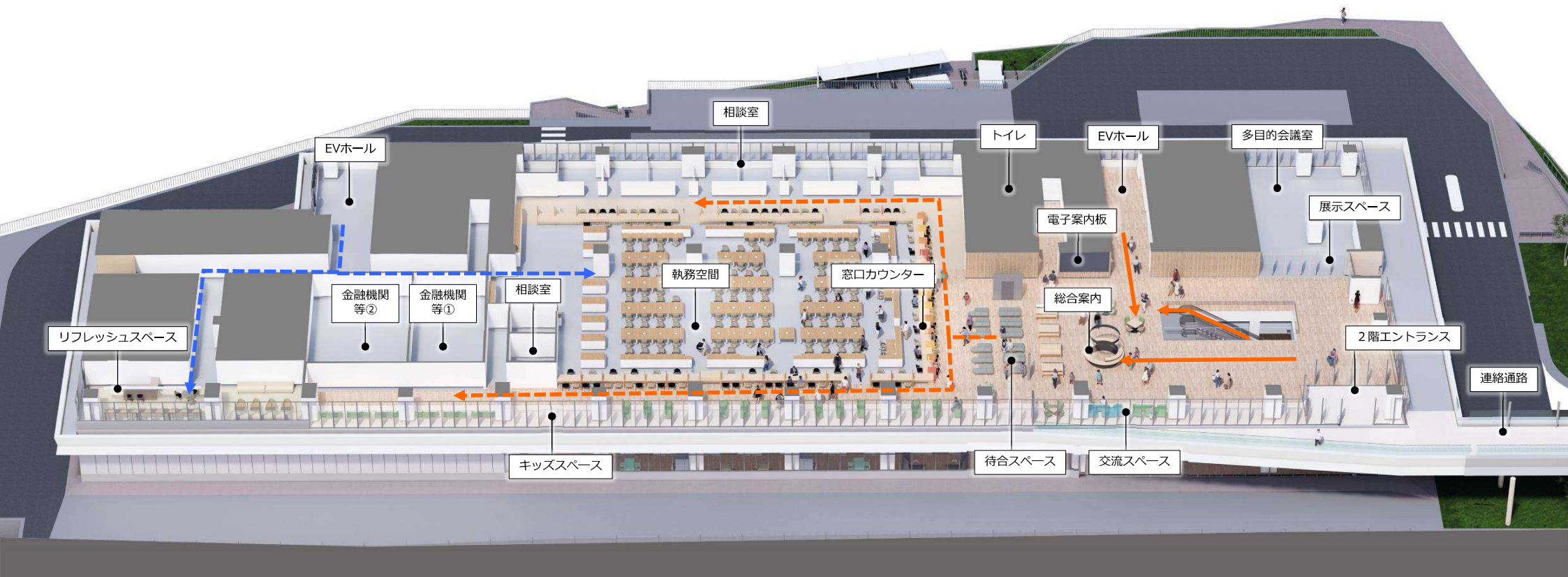
□ 断面概略図



宮崎市新庁舎建設基本設計







← 職員動線 ← 来庁者動線

来庁人数が一番多くなる総合窓口は「分かりやすい」、「情報を得る・発信する」、「変えやすい」庁舎を目標とし、ワンストップ窓口機能を取り入れることで、来庁者が快適に利用できるフロアを計画します。

■ 概要

- ・総合窓口は、新庁舎東側駐車場からのアクセスを考慮し、連絡通路で移動しやすい2階に配置します。
- ・来庁者が移動することなく、各種手続きを素早くかつ快適に完了できるよう、可能な限りワンストップでのサービス提供を目指します。
- ・エントランス付近および交流スペースの内装には県産材を使用し、木質化を図ります。
- ・機能としては「証明書発行」「転入転出」「おくやみ」「子育て」「保健福祉」などを想定しています。
- ・障がい福祉課、保育幼稚園課、子育て支援課は、おもいやり駐車場や車寄せから近い1階に計画します。

■ 窓口フロアのゾーニング

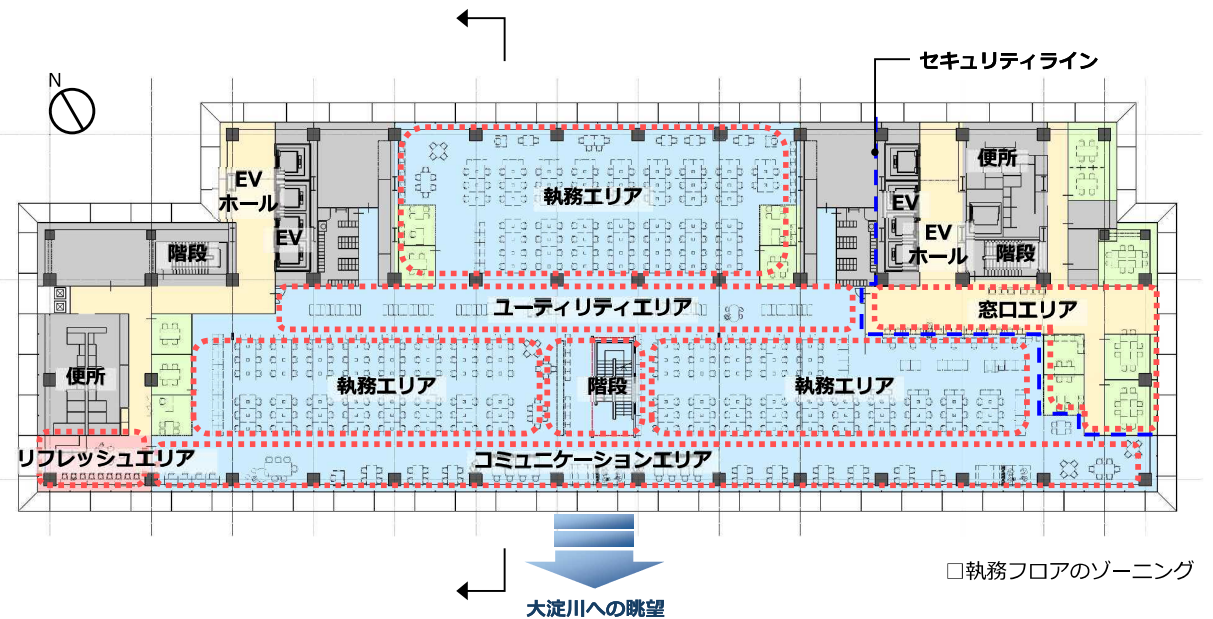
- ・総合案内は2階エントランス、エスカレーター、EVホールから視認しやすい配置とします。
- ・総合窓口の執務空間はフロアの中央に配置し、3面を窓口とすることで多くの窓口カウンターを設ける計画とします。
- ・南面窓際には待合席や交流スペースを設け、自然光や眺望を楽しみながら過ごすことができる計画とします。
- ・相談室はフロアの北側に集約して配置し、来庁者が迷わず移動できる計画とします。

■ そのほかの特徴

- ・歩行空間と待合空間の床や天井の仕上げを切り替えるなど、市民の誰もが分かりやすいようにメリハリをつけた計画とします。
- ・総合案内と待合席近辺に電子案内板を設置し、2階を利用する人が自然に情報を得られるように計画します。
- ・多目的会議室は、手続きが季節的に集中する際の臨時窓口や、選挙時の期日前投票所としても利用できるスペースとして計画します。
- ・子育て関係の窓口の近くには、キッズスペースを設けます。

■執務フロアのゾーニング

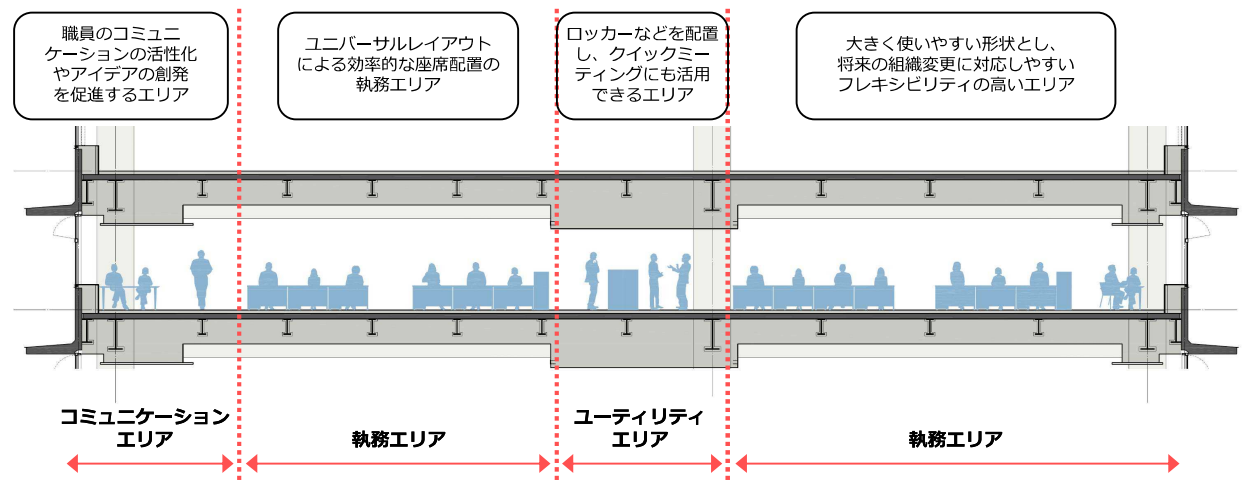
- ・来庁者の窓口エリアはEVホールからの動線が明快な東側に固めて確保し、来庁者が利用しやすい計画とします。
- ・大淀川の眺望を活かした快適な執務空間を広く確保するために、南側を大きく確保した平面形状とします。
- ・東西両端にコアを配置し、フロア中央部分に執務空間を確保することで、セキュリティラインを明確にします。
- ・執務空間は大きく使いやすい形状で確保することにより、将来の組織変更に対応しやすいフレキシビリティの高い計画とします。
- ・執務エリアの中央にはユーティリティエリアを設け、ロッカーや文房具置場を集約することで効率的な配置を目指します。このエリアはクイックミーティングの場としても活用し、フロア内の職員間のコミュニケーションを促進します。
- ・フロア中央部に階段を配置し、階段付近にてフロア内のみならずフロア間でのコミュニケーションの促進を図ります。
- ・フロア南側には大淀川への眺望を活かし、職員間のコミュニケーションの活性化や、様々なアイデアの創発を促進するスペースとして、コミュニケーションエリアを確保します。
- ・フロア南西側には昼食や休憩など、職員の心身の健康や生産性向上などを目的としたリフレッシュエリアを確保します。



□執務フロアのゾーニング

■執務エリアのレイアウト

- ・会議室及び相談室等の個室は固めて配置し、執務エリアを大きく確保することで、将来へのフレキシビリティを確保するとともに明快で効率的な設備計画を可能とします。
- ・机の配置を柱スパンのモジュールに合わせることで、照明や空調等の設備計画と執務エリアが整合し、快適で効率的な空間を可能とし、将来的な組織改編の際にレイアウト検討がしやすい計画とします。



□執務エリアの断面イメージ

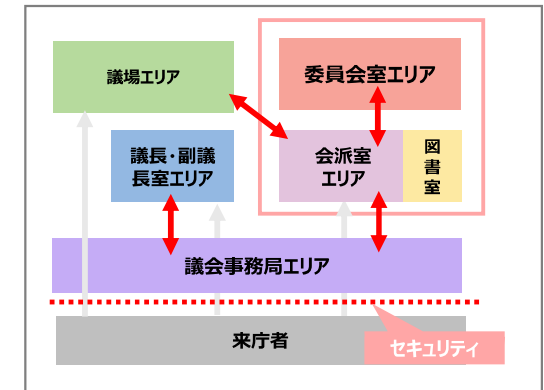
■コアのレイアウト

- ・コア（EV、階段及び便所）は、東側が来庁者利用、西側が職員専用とし、利用方法を明確にすることで、市民や職員の双方が使いやすい形態とします。
- ・EVホールの奥行は混雑時を考慮し、十分な寸法を確保します。

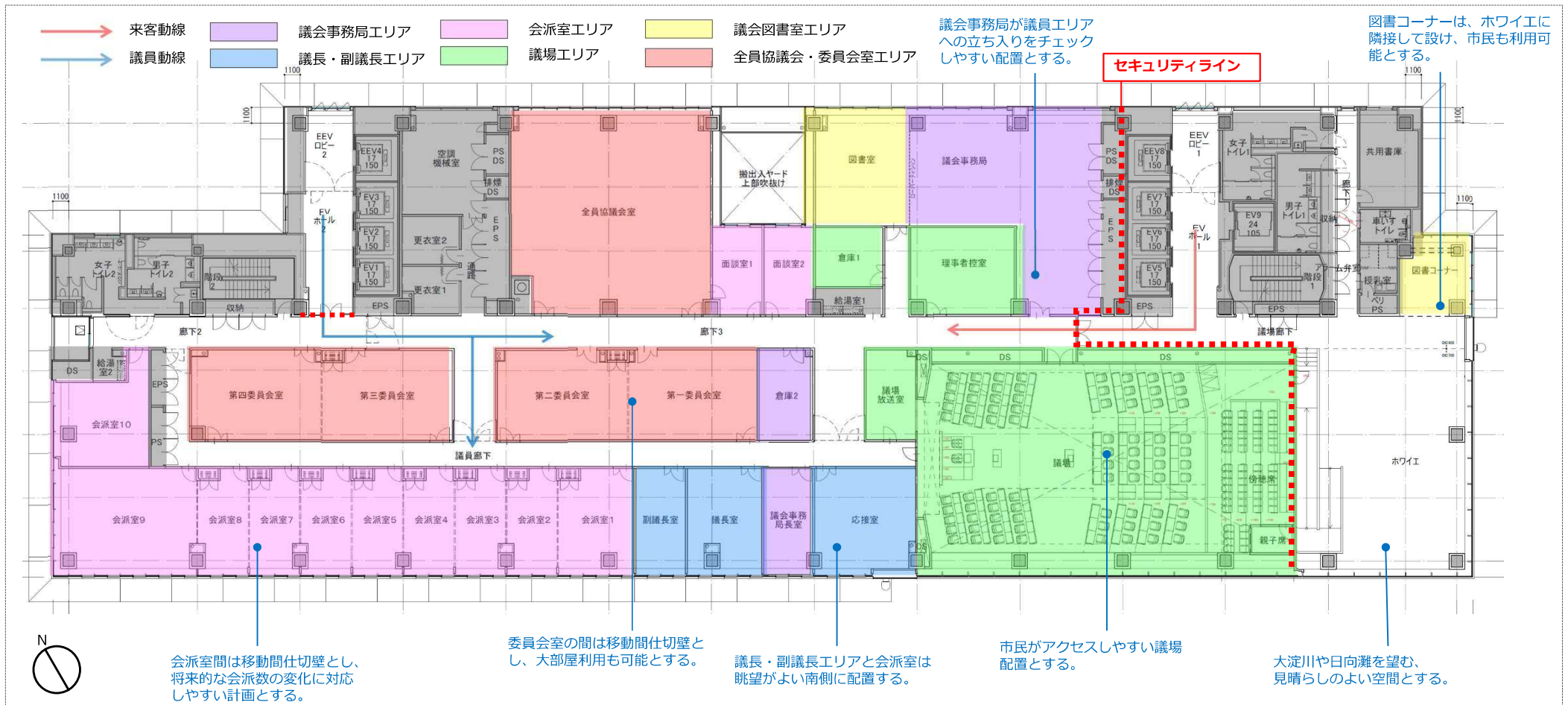
1-14. 議会フロア計画

■議会フロア計画の基本的な考え方

- ・機能的で使いやすい配置とするとともに、市民に開かれた議会フロアとします。
- ・議場のホワイエと傍聴席を、東側の一般・職員兼用コアに隣接して設け、市民が利用しやすい計画とします。
- ・市民利用エリアと議員エリアの間に議会事務局を設け、議員エリアへの立ち入りをチェックしやすい配置とします。
- ・大淀川に面した南側に、正副議長室や会派室を配置します。
- ・各会派室の間には移動間仕切壁を設け、将来的な会派数の変化にも柔軟に対応できる計画とします。



□議会フロアの概念図



□議会フロアのゾーニングと配慮事項

■議場計画

- 市民がアクセスしやすい東側に議場とホワイエを配置します。
- ホワイエは橋橋と大淀川への眺望が楽しめる南東角に配置します。
- 議場は現庁舎と同じ平行対面方式とし、傍聴席は議会との一体感を重視して議場と同一フロアに配置します。
- 傍聴席には車いすスペースや、小さな子どもと一緒に傍聴できる親子席、難聴者の傍聴を補助するヒアリンググループを設置するなど、市民が快適に傍聴できるようにします。
- 議場には大淀川に面して窓を設けます。
- 遮音性のある間仕切壁により、静かな議場環境を確保します。
- 壁面は宮崎県産木材を吸音にも配慮しながら使用し、大淀川や日向灘の水面を表現した波型天井とするなど、宮崎市らしさを表現した内装デザインとします。

傍聴席	60席 (記者席含む)
議員席	40席
執行部席	40席
議長・事務局長席	2席
車いすスペース	2席
親子席	3人分のソファ席

□議場の座席数

■議場デザインのコンセプト

『ひなたの杜(もり)～市民と未来を育む、温もりと開かれた議場～』

宮崎の温暖な気候と豊かな自然(ひなた)、そして県産材を活かした温かみのある空間(杜)を表現しつつ、市民に寄り添い、開かれた議場であることをコンセプトとしました。

3つのデザイン要素

- 宮崎県産の杉などの木材を議場全体にふんだんに使用します。壁面、議席のテーブルなどに木材を用いることで、温かく落ち着いた雰囲気と、宮崎らしい地域性を演出します。
- 天井のデザインや照明計画において、木々の間から光が差し込む「木漏れ日」をイメージさせる工夫を取り入れます。これにより、自然の中にいるような開放感と安らぎを与え、温もりを演出します。
- 木材の自然な色合いを基調とし、宮崎の青い空や海を連想させるアースカラーや落ち着いたトーンの青をアクセントカラーとして取り入れることで、統一感のある空間を創出します。

宮崎市の美しい風景



鬼の洗濯板のイメージ



波のイメージ



ヤシの葉のイメージ

イメージを模式的に表したときに共通する波型を基調として議場の天井デザインを行う。壁面は県産木材を使用する。



青島



鬼の洗濯板



海とフェニックス



大淀川 たまゆら

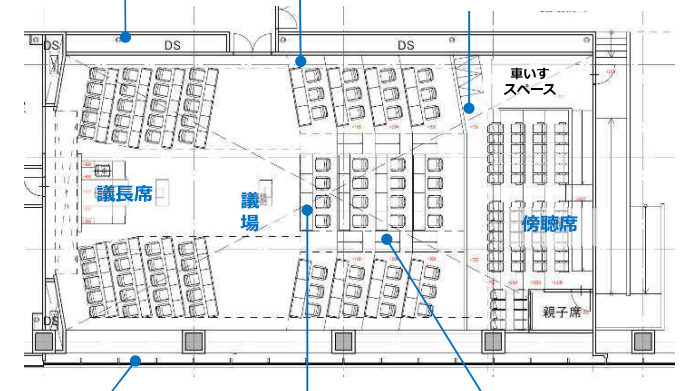
□議場のデザインモチーフ



遮音に配慮した間仕切壁とする。

吸音に配慮した内装とする。

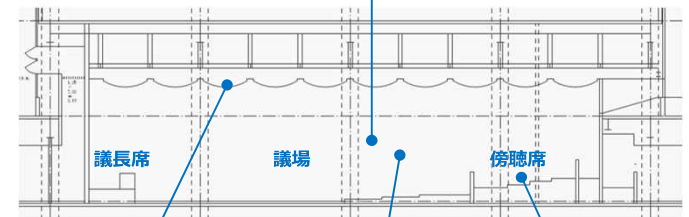
傍聴席には車いすスペースや親子席を配置するとともに、難聴者向け設備などを設けるなど市民が快適に傍聴できるようにする。



議場到大淀川の風景を取り込む窓を設置。

平行対面配置の議場とする。緩やかなスロープを設置。

県産木材を使った温かみのある内装計画とする。



大淀川や日向灘の水面を表現した波型の天井デザインとする。

議場は段床形式として、見通しに配慮した計画とする。

傍聴席は議場と同一フロアとし、市民と議会の一体感がある議場とする。

□議場平面図および断面図

トイレ機能の配置計画

※ 大型ブースは広いブースであり、車椅子使用者便房とは異なります。

階	部門（室）	職員用トイレ					来庁者用トイレ+職員用トイレ										授乳室
		大便器		小便器	洗面	歯磨き	大便器			共用部	小便器	洗面	車椅子専用便房（車いすトイレ）				
		補助手摺	大型ブース※	補助手摺	補助手摺	兼スタイリングコーナー	補助手摺	ベビーチェア	大型ブース※	ベビーベッド	補助手摺	補助手摺	オストメイト用設備	ベビーチェア	ベビーベッド	大型ベッド	
13	EVホール、展望デッキ、機械室	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—
12	議場、ホワイエ、議長室関係、会派室、全員協議会室、委員会室、議会議務局	男女各1か所	○	1か所	男女各1か所	○	男女各1か所	男女各1か所	○	—	男女各1か所	男女各1か所	○	○	○	—	1か所
11	共創テラス、電気室、機械室、中央書庫・倉庫	男女各1か所	○	1か所	男女各1か所	○	男女各1か所	男女各1か所	○	—	男女各1か所	男女各1か所	—	—	—	—	—
10	企画総務課、学校施設課、学校教育課、生涯学習課、保健給食課、文化財課	男女各1か所	○	1か所	男女各1か所	○	男女各1か所	男女各1か所	○	—	男女各1か所	男女各1か所	—	—	—	—	—
9	土木課、用地管理課、道路維持課、住宅課、公共建築課、都市計画課、まちづくり課、公園緑地課、市街地整備課、建築行政課、開発審査課	男女各1か所	○	1か所	男女各1か所	○	男女各1か所	男女各1か所	○	—	男女各1か所	男女各1か所	○	○	○	—	—
8	環境政策課、環境業務課、環境指導課、農政企画課、農業振興課、森林水産課、観光戦略課、スポーツランド推進課、国スポ・障スポ推進課、産業政策課、企業立地推進課、農業委員会	男女各1か所	○	1か所	男女各1か所	○	男女各1か所	男女各1か所	○	—	男女各1か所	男女各1か所	—	—	—	—	—
7	人事課、市役所改革推進課、情報政策課、デジタル支援課、契約課、管財課、新庁舎整備課	男女各1か所	○	1か所	男女各1か所	○	男女各1か所	男女各1か所	○	—	男女各1か所	男女各1か所	—	—	—	—	—
6	市長室関係、総合政策課、秘書課、都市戦略課、国際政策課、総務法制課、財政課、会計課	男女各1か所	○	1か所	男女各1か所	○	男女各1か所	男女各1か所	○	—	男女各1か所	男女各1か所	○	○	○	—	—
5	危機管理課、地域安全課、災害対策本部室、地域コミュニティ課、文化・市民活動課	男女各1か所	○	1か所	男女各1か所	○	男女各1か所	男女各1か所	○	—	男女各1か所	男女各1か所	—	—	—	—	—
4	納税管理課、市民税課、資産税課、国保年金課、国保収納課、指導監査課	男女各1か所	○	1か所	男女各1か所	○	男女各1か所	男女各1か所	○	男子便所1か所	男女各1か所	男女各1か所	○	○	—	○	—
3	福祉総務課、地域包括ケア推進課、介護保険課、社会福祉第一課・第二課	男女各1か所	○	1か所	男女各1か所	○	男女各1か所	男女各1か所	○	男子便所1か所	男女各1か所	男女各1か所	○	○	—	○	—
2	総合窓口	男女各1か所	○	1か所	男女各1か所	○	男女各1か所	男女各1か所	○	女子便所1か所	男女各1か所	男女各1か所	○	○	—	○	—
1	障がい福祉課、子育て支援課、保育幼稚園課	男女各1か所	○	1か所	男女各1か所	○	男女各1か所	男女各1か所	○	女子便所1か所	男女各1か所	男女各1か所	○	○	—	○	1か所

■基本的な考え方

- ・新庁舎はバリアフリー法における特別特定建築物であるため、建築物移動等円滑化基準へ適合した設計とするとともに、宮崎市福祉のまちづくり条例の整備基準の適合建物とします。
- ・可能な限り建築物移動等円滑化誘導基準を満たし、「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」を目指す計画とします。
- ・障がい者団体との意見交換会にて得た意見について、可能な限り対応します。

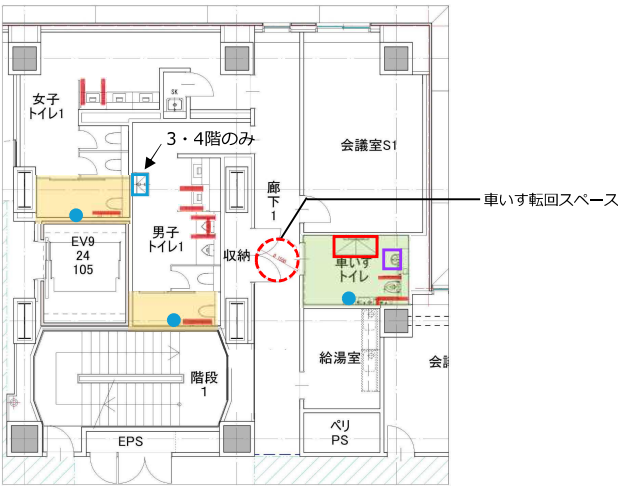
■車椅子使用者便房

- ・車椅子使用者用便房については、2025年6月に施行されたバリアフリー基準に準拠し、各階に1箇所設置する計画とする。
- ・各階の車椅子使用者用便房は一般・職員兼用コア（東側）のみに設置する。

■案内板・サイン

- ・視覚障がい者に配慮した案内板を施設1階の東側出入口からアクセスしやすい位置に計画する。
- ・1,2階の来庁者用（東側）トイレ入口にはトイレ内の配置計画を示した案内板と音声案内を設置する。
- ・トイレの案内板にはベビーチェア・ベッド、オストメイト用設備等の設置が分かり易いよう表記する。

—	補助手摺
■	車いすトイレ
■	大型ブース
●	ベビーチェア
■	ベビーベッド
■	オストメイト用設備
■	大型ベッド



基準階のトイレ機能

■内装計画の考え方

誰もが分かり易く、ユニバーサルデザインに配慮した計画とします

- ・メインエントランスとなる1階東側の風除室からは、エスカレータやEVホールを見渡せるように計画します。
- ・1階には障がい福祉課などを配置し、おもいやり駐車場からアクセスできる動線を確保します。
- ・2階の総合窓口へは、東側駐車場からの連絡通路を経由してアクセス可能とし、車両を気にせず2階のエントランスから庁舎に入れるように計画します。
- ・床には滑りにくい素材を使用し、可能な限り段差をなくすことで、来庁者の安全に配慮します。
- ・段鼻には明度差をつけ、階段部を容易に認識できるよう配慮します。
- ・サインや掲示板は壁や家具を利用し、床置きや装飾的なものを減らす計画とします。

県産木材の効果的な木材利用

- ・宮崎県は建築材料としての木材が豊富であるため、可能な限り地産地消を目指します。
- ・来庁者の目に留まるエントランスホール、窓口、多目的会議室、連絡通路などの低層部では、壁や天井だけでなく、家具やサインなどにも積極的に木材を使用します。
- ・11階の共創テラス、12階の議場やホールでは、床、壁、天井など広範囲に木材を利用することで、宮崎を象徴する空間を市民に伝える計画とします。
- ・木材は体積を活かした使用法を採り入れ、触覚や木の香りなどを通じて温もりが感じられる空間を創出します。

大淀川沿いの立地を活かした窓際空間

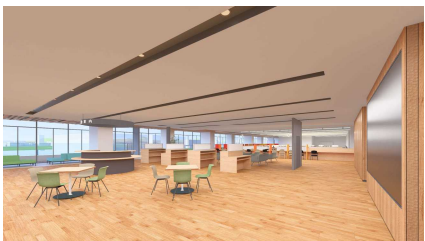
- ・待合エリア(窓際)、コミュニケーションエリア、リフレッシュスペース、共創テラス、議場など大淀川に面した空間は窓際の立上りを低く設定し、ソファやチェアに座った時でも川を見下ろし、落ち着ける空間を計画します。
- ・窓際には“自由に使える”エリアを多く設定し、市民や職員が宮崎の景色を感じながら過ごすことができる空間とします。
- ・窓際空間には木材を多く利用し、宮崎市の特徴である“水”と“木”を象徴する一体的なデザインとします。

■カラスキームと素材

宮崎市のイメージカラーから、オレンジ系とグリーン系、木質をカラスキームとします。また、色覚多様性のある方に配慮し暖色寒色の使い分けや、明度差を変えた仕上げとします。オレンジ系：大淀川に沈む赤い夕日、熟した果実や花をイメージした暖色のカラーグリーン系：フェニックスや目の前に広がる河川敷と水の様子を表した寒色寄りのカラー



待合エリア（窓際）



総合窓口



コミュニケーションスペース



執務室



議場

■内装仕上表

※特記なき限り木材は県産材を使用

仕上区分	床	壁・柱	天井
風除室	エントランスマット	SUSパイプレーション仕上サッシ (自動扉フルバイト)	ALカットパネルt3 焼付塗装
エントランスホール（1,2階のみ）	フローリング（圧密加工）	LGSボード+EP-G / 不燃木t15（なぐり加工） / 石巾木	ALカットパネルt3 / GWマット
コンビニ / ATM	コンクリート直均し	LGSボード+EP-G	GB-Rt12. 5+GB-Rt12. 5
ゴミ置場	合成樹脂塗膜（エポキシ系塗床）	LGSボード+EP-G	直天
待合エリア窓際（2階）	フローリング（圧密加工）	LGSボード+EP-G / 不燃木t15（なぐり加工）	ALカットパネルt3 / GWマット 不燃木ルーバーt15
執務室 / 総合窓口 / 会議室 / 相談室 / 中央管理室 / 災害対策本部 / EVホール / 廊下（来庁者側3階以上） / 廊下（職員側2階以上） / リフレッシュスペース（各階） / 会派室 / 委員会室 / 全員協議会室 / ホワイエ / 図書コーナー	タイルカーペットt6	LGSボード+EP-G	GB-Rt12. 5+DRt12
多目的会議室 / 展示スペース	タイルカーペットt6	LGSボード+EP-G 不燃木t15（なぐり加工）	GB-NCt9. 5+DRt12
コミュニケーションエリア（基準階）	フローリング（圧密加工）	LGSボード+EP-G	GB-NCt9. 5+DRt12 / 練付化粧板（不燃木）
市長室 / 副市長室 / 応接室	タイルカーペットt8	LGSボード+EP-G / 練付化粧板（不燃木） / 木巾木H=60	GB-NCt9. 5+DRt12
共創テラス	フローリング（圧密加工）	LGSボード+EP-G / 木巾木H=60	GB-NCt9. 5+DRt12
厨房	耐熱シート	LGSボード+EP-G / 耐水ボード	ケイカルボード t8
議場	タイルカーペットt8（模様貼り）	練付化粧板（不燃木） / GWボードt25 / 不燃木t15（なぐり加工） / 木巾木H=60	膜天井
廊下（職員側1階）	ビニル床シートt2	LGSボード+EP-G	GB-NCt9. 5+DRt12
トイレ / 車いすトイレ 授乳室	ビニル床シートt3	LGSボード+EP-G / 耐水ボード	GB-NCt9. 5+DRt12
倉庫 / 更衣室 / 資材保管庫	ビニル床シートt2	LGSボード+EP-G	GB-NCt9. 5+DRt12
階段室	タイルカーペットt6	LGSボード+EP-G	GB-NCt9. 5+DRt12
空調機械室 / 消火ポンプ室	合成樹脂塗膜（エポキシ系塗床）	GCボードt50	GCボードt25
オイルポンプ室	合成樹脂塗膜（エポキシ系塗床）	LGSボード	直天
熱源機械室	合成樹脂塗膜（エポキシ系塗床） ※防水・側溝	耐水ボード	直天
MDF室 / サーバールーム	ビニル床タイルt3（帯電防止品）	LGSボード+EP-G	GB-NCt9. 5+DRt12
PS / DS / EPS	防塵塗床（アクリル樹脂系塗料）	LGSボード	直天

GB-R：石膏ボード、GB-NC：不燃積層石膏ボード、DR：岩綿吸音板

大淀川沿いの景観に溶け込む水平基調の外観デザイン

- ・市街地の玄関にふさわしい魅力的な景観を形成するため、沿岸の他の建築物と調和する、伸びやかな水平線を基調としたデザインとします。
- ・市の重要なシンボルである大淀川との一体感を高めるため、川に大きく開いたデザインとします。
- ・市民に長く愛された現庁舎と同様に、大淀川に「顔」を向けたデザインとします。
- ・現庁舎の特徴的なデザインである水平線や外壁の明るい色を継承しつつ新たなデザインとすることで、歴史と未来をつなぐ新庁舎とします。



□南側外観パース

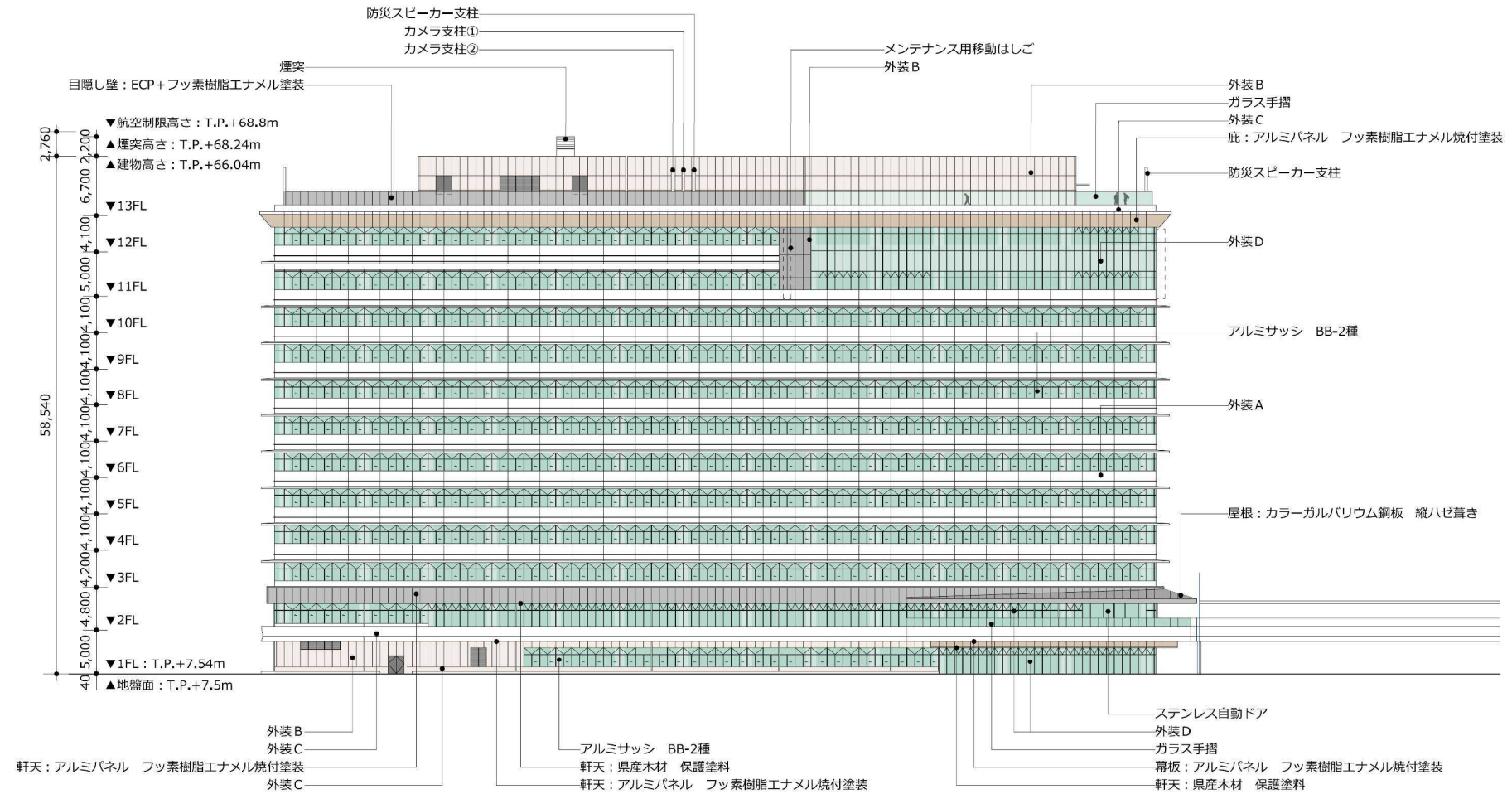
自然環境・耐久性・メンテナンスに配慮した外装計画

- ・横連窓の開口部を設け、市の豊かな気候を活かした自然採光や自然換気が可能な計画とします。また、開口部の大きさを抑え、Low-Eガラスを採用することで、日射負荷の低減を図ります。
(※Low-Eガラス：特殊金属膜を表面にコーティングしたガラス)
- ・各階には庇を設け、日射負荷を低減します。また、この庇はメンテナンスバルコニーを兼ねており、各階の外装メンテナンスを容易とします。
- ・2階庇の軒天の仕上等には地域資源である宮崎県産木材を有効活用し、カーボンニュートラルに配慮した計画とします。
- ・外壁には防音性や断熱性、耐久性が高いPC(プレキャストコンクリート)、ECP(押出成形セメント板)を適材適所に採用します。

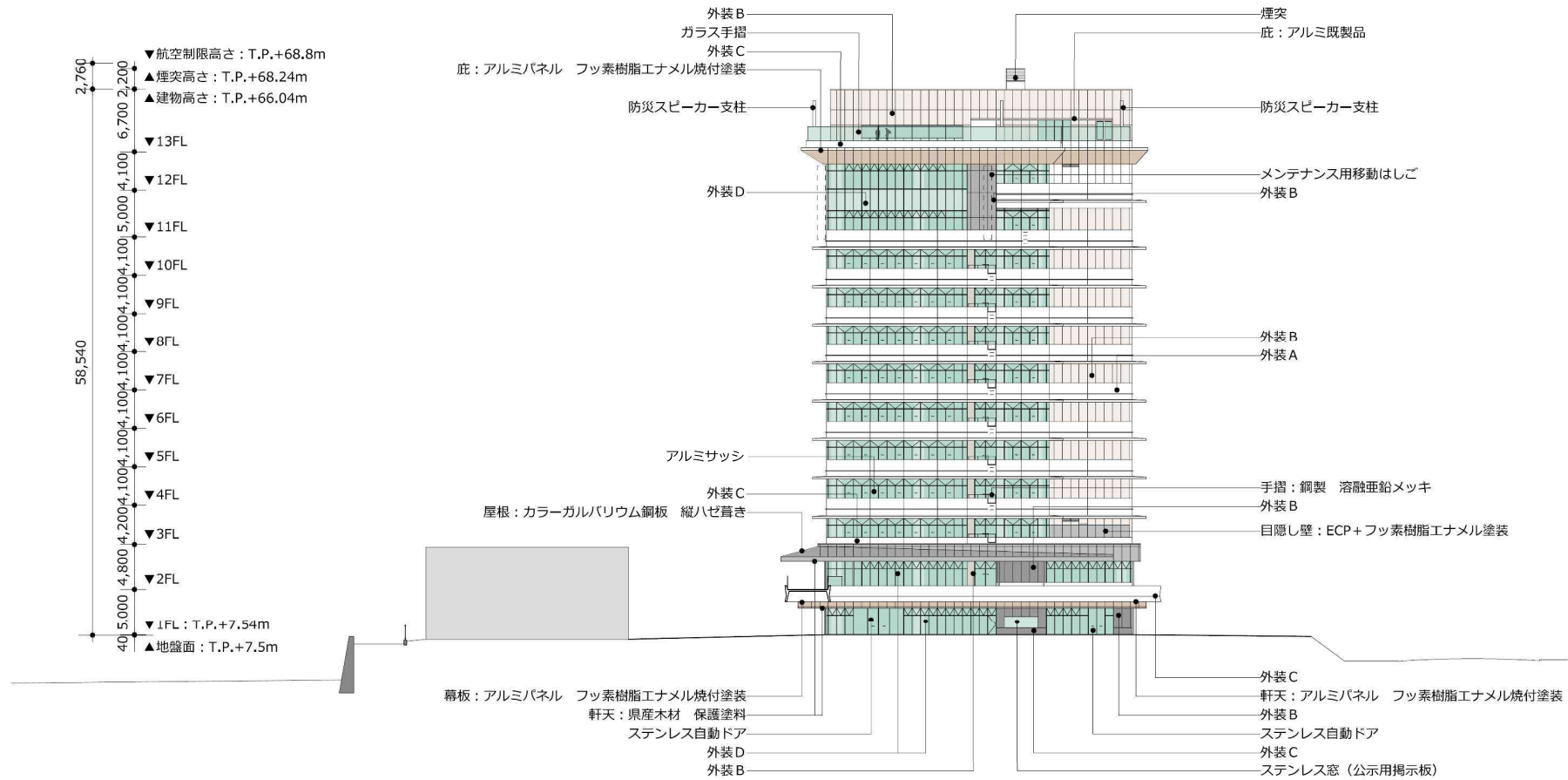


□北側外観パース

外装 A	PCa版 壁面：フッ素樹脂エナメル塗装 庇上面：ウレタン塗膜防水 軒天：NAD塗装 水切金物付き
外装 B	E C P t75 フッ素樹脂エナメル塗装
外装 C	R C フッ素樹脂エナメル塗装
外装 D	アルミカーテンウォール BB-2種

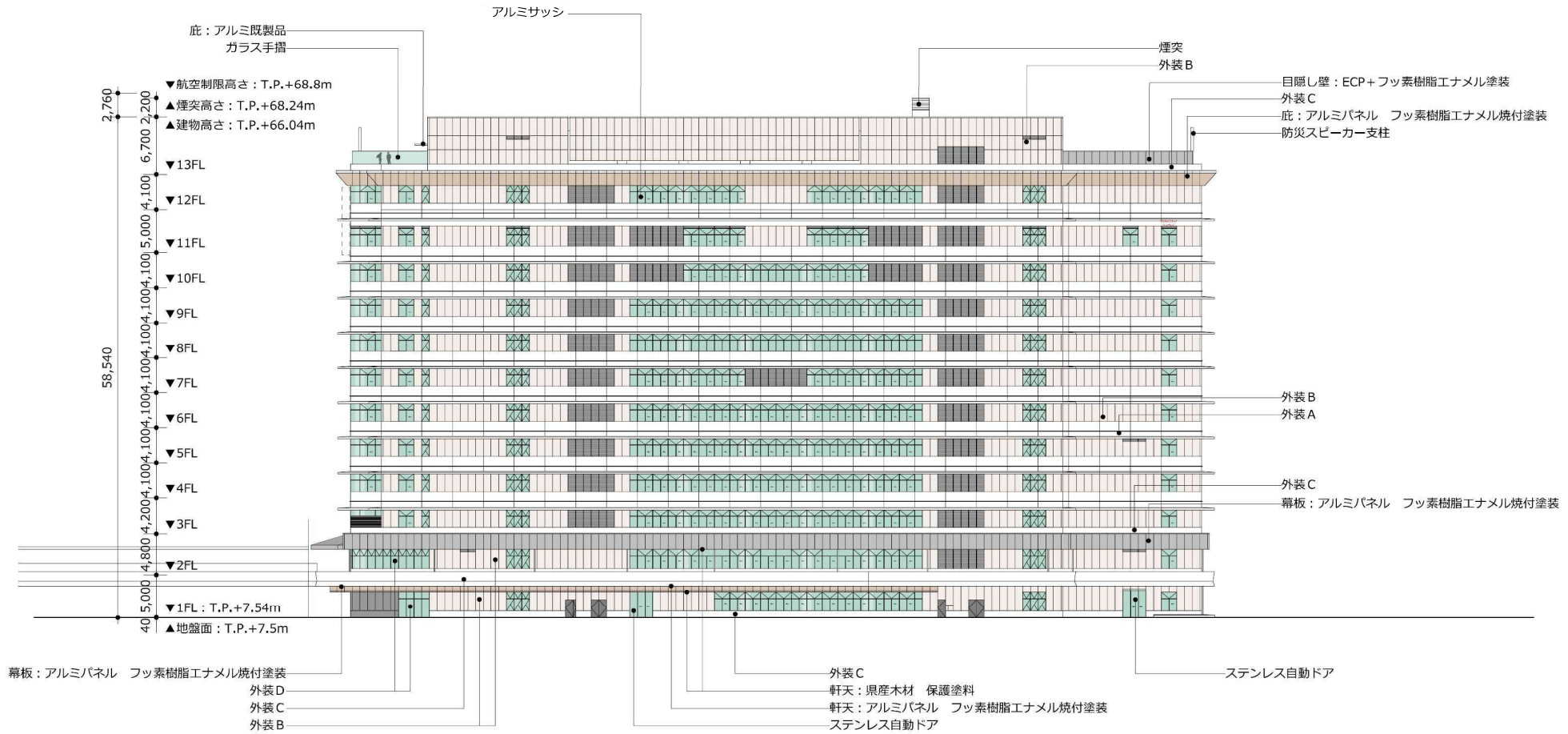


外装 A	PCa版 壁面：フッ素樹脂エナメル塗装 庇上面：ウレタン塗膜防水 軒天：NAD塗装 水切金物付き
外装 B	E C P t75 フッ素樹脂エナメル塗装
外装 C	R C フッ素樹脂エナメル塗装
外装 D	アルミカーテンウォール



1-17. 外装計画

外装 A	PCa版 壁面：フッ素樹脂エナメル塗装 底上面：ウレタン塗膜防水 軒天：NAD塗装 水切金物付き
外装 B	E C P t75 フッ素樹脂エナメル塗装
外装 C	R C フッ素樹脂エナメル塗装
外装 D	アルミカーテンウォール



1-17. 外装計画

外装 A	PCa版 壁面：フッ素樹脂エナメル塗装 庇上面：ウレタン塗膜防水 軒天：NAD塗装 水切金物付き
外装 B	E C P t75 フッ素樹脂エナメル塗装
外装 C	R C フッ素樹脂エナメル塗装
外装 D	アルミカーテンウォール

